新京日日新聞
夕刊
六月廿五日(月)
本紙一部五錢 一ヶ月一圓
定價 郵税 一ヶ月十五錢
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

ヨーロツパから觀たソ聯の極東軍備(下)

協和會 曾田博譯

ウラヂオストック及び沿海州は防禦の目的より見るときサヴエートにとり位置は惡いがチタ附近の主力軍は强力なる攻擊部隊でその位置はハルビン及び國都 京方面の滿洲に容易に侵入し得るのである極東軍の飛行機は約五十台の重爆擊機を含み、日本の西海岸に達し得る行動半經を有してゐる然し東京及び主要都市の多くは空中爆擊の危險範圍から離れてゐる、極東軍司令長官ブルーチヤーの言に依れば滿洲には全日本軍の三分の一に當る〇〇萬の日本軍と十二萬の滿洲國軍と〇〇人の指導の下にある一萬二千の白系露人防備隊がある、彼はこの數字は『絶對に正確なり』と斷言してゐる

極東赤衛軍の常時兵力は五十六萬二千と公表されてゐる而してこの赤衛軍はサヴエート聯邦の常備赤衛軍に追加されるものであることを附加せねばならない、これは歐露に於けるサヴエート兵力を弱めることなくして組織されたものである、師團が極東に送られる時幹部は殘留し、師團は再び直ちに平時兵力に增兵されるのである、歐露赤衛軍の步兵師團の平時兵力は六千名である、全赤衛軍の員數は百萬を越え內七十萬が正規兵で殘りは地方軍團兵である尙これに二十萬を算するゲーペーウーの特別隊及び國境警備隊がある、現在の計畫に依れば戰爭が勃發しても總動員は行はれないであらう、然し豫備兵の幾部分は兵時編成より戰時編成に充當するため に召集されるであらう、サヴエートに於ける軍備の機械化は眞最中であり、最も進步してゐる、最近軍事人民委員長ボロシロフはサヴエートの軍備の機械化は赤衛軍に於ては一人に付き七、七四馬力に達し米佛の軍隊より更に進步し英軍よりも優つてゐることを述べてゐる、赤衛軍のタンク現在數は二千台を超えてゐる

戰爭といふものは不可避である、現在はサヴエート聯邦にとり世界革命完成の息入れ時であるといふ露骨な報道がモスコーのサヴエート政府の責任ある代表者並に新聞紙に依り傳へられてゐる戰時公債鐵公債、軍備費が聯邦の戰鬪力を强化するために各方面に於て徵集され且この爲に賃銀の減額さへ行はれてゐる、これ等の事實はサヴエートの軍備か防禦のためでありサヴエートはすべての事に對して平和を望んでゐるが、然しサヴエートは接攘國と協約を締結してゐるけれ共不可避的侵略を受けることがあるかも知れないといふ事を物語つてゐる

このサヴエート民衆動搖はある點では純な恐怖觀念のためかも知れない又或は單に防禦をその最高潮に保つ方法とも見ることが出來るのである

(この記事はロンドンタイムス特派員が「歐洲から見たサヴエート」と題してタイムス紙に掲載したものである)

想像以上に物凄い蘇聯の高物價

=驚異的數字の解剖=

【ハイラル國通】最近蘇聯內では物資の大缺乏にともなひ物價は日增しに物凄い昂騰を示してゐるが、數日前歸朝した某事務官がチタから滿洲里迄僅々十時間の

=車內=で朝夕二食で日本金三〇〇圓もかゝる

=窮乏=の半面電報用紙使用され封筒は新古聞で作られて居り、農民から搾取した金はどしどし軍事工作產業經濟につぎこまれてゐると云ふ蘇聯の政策そのものは驚異的に我々の關心をそそり立てるものだ

一寸角砂糖もあり、直經二分九のあめ玉二五個が一留、一寸位の角砂糖が一個で一留、白パン一個が二留、バター一斤が四〇留、紙卷煙草が五留、マッチ一個が三五哥(一留は百哥)牛肉一斤が一五留、鷄卵一個一留、林檎一個が九留 靴一足が二八〇留、靴下一足二五留、石鹸一個一〇留、チヤケツ一着が九〇留と云ふ驚くべき數字を示してゐるが月收百三十留の一般蘇聯勞働者は社會保險金や國防獻金とし三割も天引される結果、一ケ月の汗水流した苦役の報酬はジヤケツ一着ですつ飛ぶと云ふ騰貴振りである、右の蘇留は金貨留の二哥にしか通用せず從つて月收百留は日本金の六圓位で一寸想像し得ない悲慘な勞銀で爲に勞働者はお茶や煮物に砂糖を使はず僅か嚙つて我慢するやうな狀態にあり、我々の一食分位にしかあたらぬ五百瓦の黑パンで一日の命をつなぐ彼等である、これから見て或地方で餓死者が山をなしたと云ふのも嘘ではない、併し斯かる

關西側乙種銀行利下は東京側に追隨

【大阪國通】乙種銀行幹事會では廿三日正午銀行集會所で非公式會合を行ひ、利下げにつき東京側への追隨を適當と認め、廿五日協議の上正式決定する筈である

滿鐵三理事後任は社外から補充 拓務省の方針決定

【東京國通】七月を以て任期滿了となる伍堂、十河、村上の滿鐵三理事の留任又は補充方針及び人選等に就いては近く永井拓相と林滿鐵總裁との間に協議決定する筈であるが伍堂理事は既に昭和製鋼所長に就任してゐるので留任せぬ事に拓務省、滿鐵の意見は一致してゐるが、村上、十河兩理事の處置は全然未定である然し拓務省首腦部の補充方針は原則として社外理事の補充は社外より、社內出身理事の補充は社內より行ふ事に決定してゐるので今回の場合は三氏が留任せざる限り孰れも社外より詮衡補充を見るものと豫想されてゐる

滿洲事變後新設された滿洲關係會社(九)

=日滿實業協會調査=

會社名	公稱資本(千圓)	拂込資本(千圓)	設立年月	營業種目	創立代表者	創立事務所
▲滿洲棉花股分有限公司	二、〇〇〇					奉天
▲日滿亞麻紡績株式會社	六、〇〇〇	一、五〇〇	九、四	一、麻類の纖維採取、紡織及製造 一、麻類と其の他纖維との混紡織品の製造並に之等原料の販賣 一、亞麻種子の買入販賣、油の採取販賣	中川正左	東京市麴町區內幸町一ノ三
▲滿洲採金株式會社	國幣 一二、〇〇〇	四、七五〇	九、五	一、砂金、金鑛の採掘製錬及國內一般採金業者に對する資金の供給、經營の委託、粗鑛、器具の貸付 三、金の買入	草間秀雄	新京
▲東滿洲人絹パルプ株式會社	一五、〇〇〇	三、七五〇	九、五	一、各種パルプの製造並に販賣 二、前記の業務に附帶する他の事業の投資	大川平三郎	東京市麴町區丸ノ內二ノ六
▲滿蒙皮革興業株式會社	一、〇〇〇	一、〇〇〇		一、各種皮革類並に其加工製造販賣 二、各種原毛皮及製毛皮の實買		奉天
▲滿洲殖產銀行	三〇、〇〇〇			殖產證券の發行、不動產金融		新京
▲滿洲計器股份有限公司	國幣 一、五〇〇	七五〇		度量衡製造販賣		新京
▲大同殖產株式會社	三、〇〇〇	三、〇〇〇		吉林樺甸縣韓家所領土地の資源開發	創立委員長 國澤新兵衛	東京市麴町區丸ノ內二ノ二丸ビル內
▲大陸興業株式會社	二、〇〇〇					新京
▲滿洲パルプ工業株式會社	一〇、〇〇〇				創立委員長 寺田元之助	大阪
▲大滿洲ホップ麥酒株式會社	一〇、〇〇〇	二、五〇〇		麥酒及淸涼飲料水の製造販賣	創立委員長 石井徹	東京市麴町區內幸町一ノ三大阪ビル
▲錦州市場株式會社						錦州
▲日滿高粱工業株式會社	五〇〇			壓搾炭化高粱板、パイプカバー(絕緣用)、鄉藥用壁、張床等製造販賣		遼陽
▲大同製藥株式會社	五、〇〇〇	一、二五〇		製藥販賣		
▲日滿水道株式會社						
▲營口製鹽公司	一〇〇			製鹽並に販賣		營口
▲營口水產股份有限公司	二五〇	一五〇		魚市場の經營	創立委員長 李翰三	營口
▲日滿貿易股份有限公司	國幣 二、〇〇〇			一、滿洲農林鑛海產の實買及海外輸出 二、日、中、歐米諸國製品原料及糧食の輸入販賣 三、商品委託販賣 四、代理業 五、問屋業 六、仲立業 七、請負作業又は勞務の請負 八、農、鑛、商、工業への投資媒介 九、商權委任事項 一〇、商業調查 一一、信用調查 一二、商品紹介及宣傳 一三、商品陳列展覽に關する件		大阪
▲興安產業公司	一〇〇			興安西分省の產業開發	(片倉系)	海拉爾
▲大和自動車株式會社	五〇〇			國產自動車の部分品製造及販賣		大連市
▲大滿洲產業株式會社				大豆加工業		東京
▲大滿洲鑛業株式會社	三、〇〇〇			鑛業		東京
▲鞍山鋼材株式會社	五、〇〇〇	一、二五〇		製鋼業	五十嵐小太郎	
▲哈爾濱セメント株式會社	五、〇〇〇	一、二五〇			角田正喬	

(終り)

設立計畫中の會社

會社名	公稱資本(千圓)	拂込資本(千圓)	設立年月	營業種目	創立代表者	創立事務所
▲日滿製粉株式會社	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇		製粉業	發起人總代 中野太三郎	東京市麴町區內山下町一ノ一東洋ビル內
▲滿洲大豆工業株式會社	五、〇〇〇			製油業		大連市
▲撫順セメント株式會社	三、〇〇〇					撫順
▲滿洲鹽業株式會社	五、〇〇〇					
▲株式會社大同林業公司	五、〇〇〇					
▲滿洲電氣株式會社						
▲遼東造成公司	三、〇〇〇					奉天
▲王子製紙パルプ株式會社	一〇、〇〇〇					東京
▲協和建物株式會社	三、〇〇〇			諸會社代用社宅の建築及經營	創立委員長 貝瀬謹吾	大連市
▲滿洲麥酒株式會社	二、〇〇〇					奉天

日滿悲曲 生命線を行く

國友雄吉 (荒川若三郎畫)

(上海上映)

(二百八)

恐ろしい空想

勝代は家に居て、大尉からの便りを待ちあぐんだ。そして、『どうかして、夫婦親子が喜びの再會の出來るやうに――』と、そればかり祈つて居たのである。

けれど、たうとう何の沙汰も無くして、その日は暮てしまつたのである。沙汰の無い所を見ると、市子はやはり、會ふと言はないのだらう――と、彼女は悲觀せずには居られなかつた。

すると、その夜の八時頃になつて、漸く大尉から使が來た。

しかしそれは、牛込の家から來たのではなく、田町四丁目に在るカフエーキングから來た使であつた。

「キングへ來て居るから、すぐに來てもらひたい」といふ意味を書いた大尉の名刺を使の者が持つて來た。

伸一の來て居なかつたのが、ちやうど幸ひであつた。女中には、買物に行つて來る、と言ひ置いて彼女は、急いでキングへ、出かけたのである。

彼女は、途々步き乍ら考へた。

「なぜ大尉は、カフエーなぞから呼びに來たのであらう? もし伸一に逢ふ決心を市子がしたのだつたら、牛込の家から呼びに來ると か、あるひは自身で、出かけて來てくれても、宜さそうなものである。――今晩は、ことによると、何か凶いことを、聞かねばならないのではあるまいか――?」

さう思ふと、なんとなく胸騒ぎがして、田町までは、ホンの僅であつたが自動車でゞも行きたい程に、氣がもめるのであつた。

やがてキングへ來てみると、大尉はひとり、特別席で待つて居た。注文した品を運んで置いて、女給が行つてしまうと、

「どうも、大變なことになつてしまつてねえ――」と、大尉は言つた。

勝代は、その一語を聞いただけで、やつぱりといふ氣がして、もう胸が、ドキドキするのであつた。

「大變なことゝいつて――何かあつたんですの?」

その聲までが、不安におのゝいてゐる。

「奥さんが、また何處かへ行つてしまつたんだ」

「ひえッ!」

驚きの後へ、忽ち、大きな失望と、不安とが、彼女に襲ひかゝつて來た。

そして彼女は早や涙ぐんで居る。それから大尉は、市子の家出をした顚末を、詳しく話したのであつた。

「今日一日、警察から、何か知らせて吳れるかくと思ひながら、日の暮るまで待つて居たが、たうとう何の通知もなかつた。君のところへも、早く知らせたかつたけれど、若し伸一君に知れるやうなことがあつては、都合が惡いと思つたものだから――」

「ひよつとして、奥さんの身の上に、悲しいことでも起りはしないでせうか――?」

市子の死といふ怖ろしい空想が、彼女を戰慄させたのである。

大尉も亦沈痛な面持で、

「僕も實は、それが心配でならないんだ。なぜなれば、奥さんとしては、寧ろ死をえらぶより外に、行くべき途は無いのかも知れない――もつとも、これは只、僕の空想に過ぎないんだが、奥さんは、支那兵のために、人の妻として、母として、女としての生命まで蹂躙されたのではないだらうか――と、さういふ風に考へてもみた」

「それは、あたしも同じことでした。けれども、夫婦、親子の愛といふものは、お互の魂と魂との間を、强くつなぎ合してゐるのですもの。いくら支那兵が亂暴をしたからといつて、奥さんの魂までも、どうすることができるものでせうか?――でも、やつぱりそれは女だけに、どんなにか、悲しいことでせうけれど――」

勝代は、知れないやうに、ソツと涙を拭ふのであつた。

大尉も、思ひ沈んで居る。

カフエーは、だんだん客で賑はつて來た。

近く三長老會議で靜觀態度を清算か
内閣は事實上の崩壞過程
注目される茲數日

【東京國通】小山法相は今週中に齋藤首相を訪問し大藏事件の中間報告を爲す筈であるこの場合齋藤首相は高橋藏相を招致して報告内容を傳へ同時に山本内相を加へ三長老會議を開き政府の執るべき態度を協議決定後速かに閣議に諮り、所謂靜觀態度清算の段取りであるが、小山法相の報告内容は大藏事件に於て政府が豫ねて期待せるところとは非常な懸隔があるものと觀られ、本問題だけでも高橋藏相引責辭職に關聯して現内閣は重大危機に直面し、事實上崩壞過程にありと目されるが、綱紀問題で某前閣僚の身邊についても召喚不可避の情勢にある事が適確に報告される模樣で、この結果齋藤首相の閣僚奏請の責任は直ちに現内閣の連帶總辭職の最後的情勢に誘致されるものと觀られるので茲數日の動向は注目されてゐる

論により居据りせんとするも四圍の情勢はこれを許さず後繼内閣は非常時突破の擧國一致の強力内閣が必要であるが政民が黨弊を刷新し提携を求めば協力を惜まぬとの意見が一部に有力である、尤も黨内には平沼説、宇垣説、清浦説が併立してゐるが後繼内閣で黨の主張を容れ援助を求めば協力するが寄木細工の弱力内閣ならば反撃せんとしてゐる

佐世保工廠に 飛行機部新設

【東京國通】海軍では海上國力補充の爲佐世保工廠に飛行機部新設の方針が決定した工廠に於ける飛行機部設置は之が最初である

延命工作に
山本内相の一大決意
藏相の辭表却下奏請も辭せず

【東京國通】齋藤首相は近く小山法相より大藏事件の報告後直ちに山本内相と政府の進退問題を協議することゝなつてゐるが山本内相の進言如何は政局に重大影響あるものと重視されてゐる、而して内相現在の心境は本事件に伴ふ某方面の倒閣運動を國家本位に立脚せざる陰謀と觀て居り、内外時局の重大性並に後繼内閣難等各般の情勢に鑑み假令黒田氏以下が有罪と決定しても直ちに總辭職を決定するは政局に善處する所以でないとの固い決意を有し首相はじめ藏相を説得して左の如き延命工作を講ずる樣重大進言をするものと觀られる

一、高橋藏相が辭意を表明する場合は國家の大局より極力慰留し若し翻意せざる時は辭表却下の奏請をも辭せざること

一、藏相は責任可分を云々するも藏相の辭職は到底現内閣の存續不可能を招くから再度西園寺公はじめ元老重臣の意向を質して後大命再降下を期待し延命工作へ支障なきを期すること

大命再降下は現下の狀況ではない
軍部、政局の前途を重大視

【東京國通】軍部では、靜觀されてゐた政局の推移は廿七八日頃高橋藏相の辭表提出に依つて愈々＝進展＝し來るものと觀測し林陸相はこの場合に於ける軍部の態度に就いて部内首腦部と充分意見の交換をなし、之に處する對策を愼重考慮してゐる、而して大藏事件について小山法相から藏相に報告があつた場合高橋藏相は愈々廿七、八日頃辭表を提出するものと觀られるが、かゝる場合政局は高橋藏相の言明する如き責任可分に依つて藏相のみが責任を負つて辭表を提出するだけに止め齋藤内閣は一時居据りをはかるかも知れぬが藏相の後任を求めることは到底至難であり首相が乘諾して行くことも不可能のため内閣は來月初旬には遂に總辭職するに至るであらうと觀測してゐる、然し陸軍として此の場合積極的に内閣崩壞に導く如きことは避けるが陸相としては藏相の辭表提出のあつた場合、某事件今後の發展に伴ひ前閣僚にも及ぶが如きことあつた場合の首相の責任上如何なる＝處置＝を執るやに就て意を質すが内閣は結局總辭職に至るものとしてゐる、而して總辭職後齋藤首相に大命再降下をみる如きことは現在の狀況ではあり得ないことゝ觀られるが後繼内閣首班者に何人が推擧さるゝことになるかに就ても全く想像がつき兼ねてゐる

後繼内閣をめぐる
國民同盟の見解

【東京國通】國民同盟では總辭職近しと觀て安達總裁を中心に協議中であるが責任可分であらう、この際高橋藏相が責任を回避し、政府筋で延命を圖るとしても四圍の情勢は居据りを許さず政變は必至である、後繼内閣は宇垣、清浦兩氏の外ないとしてゐるが、政黨を基礎とする内閣なる以上進んで援助し平沼男や南、岡田氏等は問題として居ない

司法當局の煮え切らぬ態度に
大藏中堅組不滿を爆發す

【東京國通】大藏省事件突發以來大藏當局は司法權の獨立性を尊重し絶對靜觀主義を執り今日迄口を緘して事件の成行を注視して來たが、大藏省が確實なる筋より得たる情報に依れば月餘に亘る取調べの經過を觀るに何等犯罪事實を首肯せしめるに足るべき證據が摘發さるゝに至らず、徒らに結末を明かにすべしとの意思表示をなすべきであるとの強硬論擡頭し司法當局の態度に不平不滿を爆發せしむるに至つた

に所謂その筋のデマが横行するに至つたので中野課長間には此上事件の眞相判明を遷延せしむるに於ては財政金融の行政中樞機關たる大藏省の信用を害すること甚だしく國務の遂行に重大なる支障を來す虞れありとの見地から最早之以上靜觀、默視することは能はずとなし、司法當局に對し國家的見地より速かに事件の

藏本副領事
松山腦病院收容

【東京國通】藏本副領事は近親者と共に須磨より廿三日午後一時松山市外の吉田濱腦病院へ收容されたが、全快後復命の筈である

政變は必至
民政黨の觀測

【東京國通】民政黨の政局觀左の如し
小山法相の報告後高橋藏相は辭任し、現内閣は總辭職する

黑田主任檢事入院
報告遲延か

【東京國通】政局に重大波紋を惹起してゐる大藏省事件の取調べは一段落を遂げ目下事件關係者に對する贈賄追訴準備に全力が注がれて居り、小山法相の齋藤首相に對する眞相報告の時期は各方面より頗る注目されて居る折柄右事件の黒田主任檢事は膽石病を發し廿四日入院した、同氏はこゝ暫く再起不可能と觀られるので東京地方檢事局では應急措置として今日迄同事件で活躍して來た枇杷田檢事を主任檢事とし、之に八木、長尾兩檢事を加へて補塡する筈であるが之が爲追訴手續も多少遲延を免れぬかも知れず、從つて小山法相の眞相報告は本月中に行はれるか否か幾分疑問とされるに至つた

『昔と今の滿洲は地獄と天國の相異』
栗山外務省條約局長來京

栗山外務省條約局長は廿四日午後八時五十分、一時廿間分延着の「はと」で谷參事官、守屋、筒井、鶴見各書記官等の出迎へを受け、その元氣な姿を新京に現はした、治外法權並に附屬地行政權問題が具體的に云爲され近く現地案を携へて谷參事官東上の運びとなつてゐる折柄、氏は左の如く語る

別に何もない、新興滿洲の視察だ、二十五日一日だけ新京滯在、廿六日ハルピンチチハル方面迄行つて來る、歸途又立寄る、歸りは北支の視察をして行く心算だ、廿年前私は大學を出たての官補として營口に半年程ゐたことがあるが、その時の滿洲と今度視る滿洲とでは地獄と天國の差異だ今の處驚きで未だ何も感想が出て來ぬ、だが今日のこの列車の延着にはどうなつて行くのかと閉口した

苦境の比島政府
輸入割當制實施か
＝日本當局成行注視＝

【東京國通】確實なる筋への情報に依れば比島上院議員マニエル、ケーゾン氏等の獨立請願委員が先頃アメリカ政府に比島獨立の＝交渉＝をなした際、比島側が獨立の準備政府が組織された後も米國よりの輸入品に對しては米國をして市場を獲得せしむるに盡力すべき旨の諒解が成立したと傳へられてゐるが果せるかな比島當局は綿布、人絹、鐵鋼品等の關稅引上げを提案した、右の結果は比島の物價を騰貴せしめ消費者に苦痛を與へ一般民衆の利害關係と相反する事態を誘致したので近く行はれる比島憲法會議々員の選擧及び比島獨立準備等に於て政府側に不利益なる影響を與へる樣な形勢である、かく比島政府は米國よりの輸入品を保護しなければならぬ一方比島の消費階級の利益をも圖つてやらねばならぬ窮地に立至つたので比島政府當局は此の苦痛から＝脫却＝せんがため一つの緩和策を案出し比島と外國との間の貿易上の割當制を實行せんとして目下愼重考慮中である、我外務當局では比島の割當は日比貿易に多大の影響を受けることゝなるので成行注視中である

滿鐵は輸入組合の自滅を許さず
新京輸入組合の改築は必須
歸京の久末理事語る

去る二十日大連輸入組合で開會の第六回聯合總會に出席した久末新京輸入組合理事は二十四日歸京して語る

定期の總會であるから別に面白い問題はなかつた、重な問題は輸入組合聯合會の八年度の決算であるが、これも型のきまつたもので異議なく＝承認＝された、本組合からは「自己資金の運用制限撤廢の件」「滿鐵融通資金の取扱銀行間に付替制度を設けるの件」を提出したが、前者は各地の事情を當局者が聽取したゞけでこれに對しては實現が困難であるかのやうな意味を漏してゐた、後者は各地の久しい問題で近々實現の運びに至つてゐる模樣である、新京輸入組合の改築移轉敷地の件については地方事務所の前が絕對に駄目といふことなので、他に二ヶ所の候補地をみつけて總會後滿鐵本社に行つたが、地方課長が不在のため決定までにはゆかなかつた然し部長へは改築の急を要する事情をよくお話しておいた、總會の際途中で或る事項に關して秘密會議となり＝傍聽＝を禁止したので何か新聞社の方から誤解をうけたやうであるが、決してこれは輸入組合の前途を悲感するやうな問題ではない、かねて輸入組合に對し滿鐵本社が積極的態度に出ず自滅をまつてゐるかの如く世上傳へられてゐたやうであるがそんなことはない、今度の會合で滿鐵當局から各地の輸入組合はその使命に向つて大いに活動せよといふことであつた

廿五日は
皇太后陛下御誕辰佳日

二十五日は皇太后陛下御誕辰の日、内地、大連等ではこの佳日を母の日として各團体學校で母を愛し、母を慕ふ催しを盛大に行つた

胡漢民一派の
新興反蔣運動擡頭
全國的に漸次擴大の模樣

【上海廿四日發國通】蔣介石氏の強骨な重壓に脅ひゆる西南實力派は最近頻々と軍事會議を召集し中央の威を迎へて掃匪に專念するが如く見せかけ其の實西南派の結束團結に腐心しつゝあるが、支那側の＝消息＝によれば、南京政府は前述西南實力派の反抗とは別途の有力なる新興反蔣運動が擡頭せるため、その進展如何によつては今後の西南派壓迫は困難と見做さるゝに至つた、即ち新興反蔣運動派の主體は現在香港に雌伏し私かに機會到來を窺ひつゝある失意の國民黨元老胡漢民氏及び其他あらゆる國民黨分子を網羅せるもので既に反蔣の旗幟を掲げて積極的活動に入らんとしつゝある而して此の新反蔣運動の原動力たらんとする胡漢民氏一派の國民黨は過去の反蔣運動の失敗に鑑み最も用意周到なる運動方針を定め

一、宣傳機關の擴充
一、黨員の全國的獲得

の二點に特に力を注いでゐるがその現れとして既に西南の言論機關に働きかけを開始せる外上海に於ては某大通信社の＝買收＝に成功したと傳へられてゐる一方全國的に現中央政府に不滿を持つ各派分子を團結のため多數黨員を夙に華北に潛入、山東、山西の各地に分駐せしめ猛烈な活動を開始した事實がある、右新國民黨の最近掲げた反蔣政綱は

一、國民黨正統の回復
二、黨權簒奪の藍衣社に反對
三、暴虐の政娼改組廢除

等である

航空界の花形
ロケットの公開實驗

【東京國通】航空界未來の花形として現れたロケットは各國秘密裡に研究の結果、最近遂に實用化されるに至り、日本の空にも愈々ロケット時代の曙光が見えて來た、即ちロケットを通信用として應用すべく、今回大阪帝大工學部航空研究部の小谷工學士に依つて近日中に同大學運動場で公開實驗を行ふ事となつた、右ロケットの外觀は輕いアルミニユームで其中に火藥を充塡し電氣的發火裝置に依るもので時速八百キロ、飛行機の約三倍の速度で飛び上り降下する時は自働的にパラシユートが開く仕掛けで其實驗は各方面から注目されてゐる

その日く

□內閣の基礎いよいよぐらつく、政權亡者共の動きとみに繁し
□併し次の政權を委ぬべきもの果して何人？……いさゝか心細さを感ず
□鏡泊湖附近の大討匪行決行、兵隊さんばかりには事變後といふものがない
□航空界の花形ロケットの研究進む、どこまで延びるか空の世界
□西公園の入園料徵收問題、施設の關係で當分沙汰やみ、さもありなん

人事往來

▲森島總領事（哈市總領事館）二十四日午前八時三十分發哈市へ
▲佐藤直俊氏（北滿特別區總務處長）同上
▲境檢事長（京城高等法院）二十四日午前九時發京城へ
▲金上校（滿洲國侍從武官）同上奉天へ
▲松田芳助氏（北滿特別區公署警務處長）二十四日午後三時二十五分着哈市から
▲林啓氏（新京最高法院長）同上
▲峰谷總領事（奉天總領事館）二十四日午後八時五十分着奉天から
▲栗山條約局長（外務省條約局）同上大連から
▲梶井軍醫監（關東軍軍醫部長）同上奉天から
▲張燕卿氏（實業部大臣）二十五日午前七時着大連から
▲伊藤博士（帝國大學教授）二十四日午後十時發奉天へ
▲山内少佐（新京商業學校配屬將校）二十五日午前九時發四平街へ

團体

▲播磨造船所會社員三十二名二十五日午前七時來京同日午前八時三十分發哈市へ
▲兆南風林小學生三十三名二十五日午前六時二十分發南行
▲日本石油會社員二十二名二十六日午前六時來京
▲鐵嶺家政女學生三十三名二十七日午前六時來京同日午前八時三十分發哈市へ

英米、優越感を棄てよ
延期說に對し
海軍會議における日本の態度

【東京國通】明年の海軍會議を世界的政治、經濟の不安狀態がもつと安定する迄、例へば一九四〇年迄延期せよとの說をワシントン有力筋が強調して居るに對し、日本海軍當局はアメリカが會議を成功せしめ樣と努力して居るに對しては敬意を拂ふが、さりとて無條件に贊成する事は日本の現狀より到底困難と稱して居るが、右は大体左の理由に基くものと察せられる

一、日本の增率要求は建艦競爭の精神でなく國防自主權の回復、即ち國家安全感の均等要求であり、會議延期の論據にならぬ
一、若しワシントン條約、ロンドン條約を現在の儘一九四〇年迄有効にすれば米國は條約量一杯に增艦し名實共に世界一の海軍力となるに反し、日本は條約に縛られ手も足も出ぬ
一、本年度迄にワシントン條約の廢棄通告をなす國あれば當然會議を開くべきはロンドン條約の十三條で明白である
一、日本は延期說より寧ろ世界優勢海軍國たる英米が國家安全觀の均等確立の大精神に立脚して劣勢國の主張に耳を傾け優越感を放棄し互に他を攻擊せぬ軍備即ち近海に於る絕對優勢な軍備を協定する事に努力せば現下の國際情勢下でも容易に會議を成功に導き得るを確信し斯くあらん事を切望する

内外蒙を貫く
交通々信の獨專的大計畫樹立
着々進むソ聯の工作

【東京國通】外蒙赤化から更に漸進して内蒙への積極的飛躍を企圖しつゝあつたソ聯は愈々その前衛工作として内外蒙を貫く交通々信の獨專的大計畫を樹立し、之を遂行する機關として張家口駐在領事を委員とする張庫交通處を綏遠省平地泉に新設し、既に今月初めより工事に着手した旨の注目すべき情報が二十一日某確實なる筋へ達した、然も從來のソ聯側の此種工作に當つては支那側との間に悶着を起すのを常としたが、今回の計畫については何故か南京政府はソ聯側に諒解を與へ、且つ察哈爾、綏遠の兩地方當局に對し張庫交通處の業務に對する保護を命令してゐる事は東亞の全局より觀て特に重大視される、而して右計畫は外蒙の庫倫と内蒙察哈爾省の張家口を中心とするものであつての概要は左の通りである

△自動車網
一、綏遠省平地泉から烏得に至る線（右は裝甲自動車四輛の保護の下に重積載自動車八十輛を運轉し、且つ途中數ヶ所に駐車場を設ける事迄決定既に工事中）
一、烏得から察哈爾、綏遠兩省境界に至る線
一、明安から察哈爾省の蘇尼特に至る線
一、明安から綏遠省四子部落各旗に至る線
一、伊林　羅斯から海山布留特に至る線（本線は將來烏珠穆筆に延長）
一、烏得から達里闢崖に至る線

△無電網
一、烏得に大無電臺を置き此地をソ支間交通通信聯絡の中心とする
一、平地泉に一基
一、烏蘭治達に一基
一、明安に一基
一、伊林　羅斯に一基

各地市場

▲大連上海向：引止 [illegible]／高値 [illegible]／安値 [illegible]／出來高 [illegible]
▲大連煙台向：[illegible]
▲阪神日米爲替：第一回 [illegible]
▲大阪株式：大株新 [illegible]／大新 [illegible]／鐘紡 [illegible]／同新 [illegible]
▲同短期：大新 [illegible]／鐘新 [illegible]／東新 [illegible]／日産 [illegible]
▲大連株式：五品 [illegible]／先限 [illegible]／豆新 [illegible]
▲大阪三品：當限 [illegible]／七月限 [illegible]／八月限 [illegible]／九月限 [illegible]／十月限 [illegible]／十一月限 [illegible]／先限 [illegible]
▲大阪綿花：當限 [illegible]／先限 [illegible]
▲大阪期米：當限 [illegible]／中限 [illegible]／先限 [illegible]
▲仁川期米：當限 [illegible]／中限 [illegible]／先限 [illegible]
▲横濱生糸：現物 [illegible]／當限 [illegible]／先限 [illegible]
▲神戸豆粕：六月限 [illegible]／七月限 [illegible]
▲大連特産：青筋 [illegible]／鐵道 [illegible]／爲替 [illegible]／カルカツタ麻袋 [illegible]／麻袋 [illegible]
寄引：大豆 袋込 [illegible]／六月限 [illegible]／七月限 [illegible]／八月限 [illegible]／九月限 [illegible]／十月限 [illegible]／豆粕 現物 [illegible]／七月限 [illegible]／豆油 現物 [illegible]／七月限 [illegible]／八月限 [illegible]／九月限 [illegible]／高粱 現物 [illegible]／六月限 [illegible]／七月限 [illegible]／八月限 [illegible]／九月限 [illegible]／十月限 [illegible]

海外經濟

▲銀塊及爲替：倫敦銀塊 [illegible]／同遠限 [illegible]／紐育銀塊 [illegible]／米英爲替 [illegible]／米日爲替 [illegible]／米支爲替 [illegible]／スチール株 [illegible]／アナゴンダ株 [illegible]
米棉：現物 [illegible]／七月限 [illegible]／九月限 [illegible]／十二月限 [illegible]／一月限 [illegible]／三月限 [illegible]／五月限 [illegible]
▲印棉：ブローチ [illegible]／オームラ [illegible]／ベンゴール [illegible]
▲上海標金：昨日休會／本寄 [illegible]／歩値 [illegible]
▲上海日本向：第一回 [illegible]／第二回 [illegible]／第三回 [illegible]
▲上海倫敦向：賣値 [illegible]／買値 [illegible]
▲上海紐育向：賣値 [illegible]／買値 [illegible]
▲大連金鈔票：現物 [illegible]／近限 [illegible]（先限）[illegible]／寄付 [illegible]／歩値 [illegible]

新京市況

特產現物 出來高：大豆 [illegible] 二車／高粱 [illegible] 一〇車
錢鈔：鈔票對金票 [illegible]／現大洋對金票 [illegible]／國幣對金票 [illegible]／現大洋對鈔票 [illegible]
錢鈔先物：六月廿八日限 寄付 [illegible] 引値 [illegible]／鈔票對金票 [illegible]／出來高 六千圓／七月十三日限 寄付 [illegible] 引値 [illegible]／鈔票對金票出來高 四萬四千圓

鏡泊湖附近の大討匪行敢行

二十五日から半月間に亘り　協和會も宣撫工作

さきに二回にわたる匪襲のため建設の雄圖半ばに總務以下十數名の學生を失つた鏡泊學園の所在地鏡泊湖附近は現在なほ多數の匪賊が籠居し險阻な自然の地勢を擁しく同地方民心に不安を與へ、このまゝ放置すれば匪賊の組織化を來し、匪軍强化の恐れがあるので新站日本軍守備隊では本二十五日から七月十日まで半ヶ月にわたつて此等鏡泊湖附近の大討匪行を敢行することとなつた、なほ同守備隊から宣撫工作參加方の要請があつた協和會吉林地方事務局では該期間中日滿二班の宣撫班を組織し思想、教化兩宣撫工作を實施することとなつた

新組偽勇軍

旺んに國際列車を襲ぶ

【ハルビン國通】廿三日朝ポグラニチナヤ發の國際列車が太平嶺驛に到着するや、約廿の匪賊が馬橋河附近の線路破壞中なりとの情報を得、未然に匪團の陰謀を防止し大事に至らなかつたが、最近北鐵東部線一帶を横行する匪團は國際列車のみを狙ひ、殊に日本軍用列車を襲ひつゝあるが該匪團は曩に日滿軍の大討伐に遭ひ、ソ領に遁入しソ聯官憲の訓練を受け、最近秘かに滿洲國内に侵入し、滿洲國擾亂を目的とする新組偽勇軍なる事が判明したので日滿當局は異常に緊張し活動を開始した

無免許運轉手

馬車と衝突

二十四日午後七時ごろ日本橋通金泰洋行前で客馬車夫第一九三八號張元富（四一）が驛前から城内に向ひ通行中、前記場所に差懸つた際、滿鐵バス修理庫内原正夫（三二）が修理自動車を城内から驛前に向け運轉中衝突し、馬車の右車輪を粉碎した、届出に接し新京署で取調べたところ前記原は無免許運轉と判明し自動車取締規則違反手で科料十圓に處した

昨夜の特急

一時間廿分遅延

新京午後七時半着「はと」は機關車々軸燃燒のため故障を來し鐵嶺に於て貨物機關車と取替へ更に四平街に於て客車用機關車と取替へて進行を續けたが之がため同列車は一時間廿分の遅延を來し午後八時五十分新京に到着した

満鐵運動會成績

紫軍第一種優勝

二十四日の西公園に於ける滿鐵運動會は好天に惠まれ盛況であつたが各軍の總得點は左の如く、第一種は紫軍、第二種は綠軍斷然優勝した

▲第一種

紫軍（地事醫院その他）　八八、五點
綠軍（新京驛）　七四、五點
樺軍（鐵事その他）　五三、〇點

△第二種

綠軍　一四五點
紫軍　七七點
樺軍　五四點

（寫眞は假裝行列）

奉天神學院聖書研究會

參加者運賃割引

七月一日から二十三日まで奉天で開かれる奉天神學院主催の聖書研究會參加者に對して鐵路局では旅客運賃の割引をなす、詳細は鐵路總局報第二百八十四號二十三日附に記載

寛城子、猛家橋間に追剝二名

二十四日午後八時ごろ寛城子居住滿人染物業辛振海（二二）が附屬地から染物衣類五點を持ち歸る途中、寛城子と孟家橋との中間に差懸つた際、突然支那長衣をまとつた滿人男二人が現はれ、内一名は手ばやく懷中から拳銃を取出し脅迫中一名が棍棒で頭部を毆打し昏倒するをまつて現金十圓衣類五點を强奪逃走した届出により寛城子北鐵路警並に新京署で犯人捜査中である

現在の西公園では入場料は無理

十二分の施設をしたうへ來年度から實施か

西公園の入場料徴收については地方事務所では既に實施してゐる奉天の成績などを照會し、參考に資してゐるが、照會の結果はその實施について大して問題なきものとの見極めはついたものゝ、何分公園自體が奉天のそれとは多少趣を異にし、その施設内容の如きも奉天より遙かに劣るものがあるので、今後充分の施設をしたうへ、即ち少くも來年度事業費には音樂堂、メリーゴランドなどの相當の施設が計畫されてゐるから、この計畫がいよいよ實施期に入つて後、初めて入場料を徴收することは無理がなく、最も妥當だといふに當局の意嚮も向ひつゝある模樣だから、結局本年度は現狀のまゝで來年四月から實施されるのではないかと見られるに至つた、なほ忠靈塔參拜者その他に對し特に入場料を免除するについては理論上異論はないが實際問題としてはその取締が難しく當局でもなほ考慮の必要あるものとしてゐる

ロシア人幼兒馬車に轢かれて重傷

二十四日午後五時十五分頃寛城子居住露人ウラジミル、ロオフ夫妻が息子アントロオフ君（六）を伴ひ西公園散歩の歸途平安町一丁目新京神社北側を横斷せんとした際折柄同所を東行中の馬車（第二〇七〇號）に前記アントロフ君が轢倒されたので直に滿鐵病院に擔ぎ込み醫師の診斷を受けた結果、左足首骨折及び顔面に擦過傷を負つて居る外、胸部に可成りの打撲傷を受けて居り肋骨骨折の疑ひあり兩親は半狂亂の態で直に該馬車夫を伴ひ新京警察署へ屆出でたが同署で目下詳細取調中である

街の日記

新保安主任　加藤警部挨拶

新京警察署保安主任を命ぜられた關東廳警務局新京出張所の加藤爲一警部は二十五日就任挨拶に來社した

堀内、廣重兩警部歸任

關東廳管下各署高等主任會議に出席中の新京署堀内警部新京總領事館署廣重警部は會議を終へ二十五日午前七時着列車で歸京

神崎副所長一行範家屯へ

範家屯地方委員會に出席のため地方事務所神崎副所長、鯉沼地方係長、三浦公費主任の一行は二十五日午前九時五十分新京發で同地に向ひ即日歸京した

盛京黑田記者ハルビン轉勤

盛京時報新京支社記者黑田一男氏は哈爾賓支社詰を命ぜられ二十六日午前八時三十分發列車で赴任

遺骨着京

二十四日午後四時吉林から輸送された故渡邊軍醫正以下四名の遺骨は同日市内祝町西本願寺内納骨所に安置された

總局自動車後瓦房營業所開始

鐵路總局自動車後瓦房營業所はかねて新設中であつたがいよいよ竣工したので去る二十三日から營業を開始した、これと同時に從來扶餘に開いてゐた扶餘營業所を廢止して停留所を置くことになつた

寄附

市内日清製油の安生惠壽氏は亡妻女冥福のため金三十圓を新京神社へ寄附した

盜難屆

▲三笠町三丁目一五金三花さんは廿一日午後九時から翌日午前七時の間自宅内で衣類一枚時價十圓を窃取さる
▲西廣場小學校三年生小林菊雄君は二十三日午前七時三十分ごろ吉野町二丁目から客馬車に乘車し、西廣場小學校前で下車し十錢を支拂つた際馬車夫は小林君の紙ばさみを窃取逃走した
▲常盤町二十番地滿洲新京販賣所吉田得美氏は二十四日午後一時ごろ西公園グランドで野球見物中、何者かに黑皮製蟇口一個在中現金四十圓七十錢を窃取された
▲八島通卅二番地大連火災保險會社員高橋房義氏方へ廿三日午後一時から同三時の間家人不在中何者か裏窓口を破壞し内部に侵入衣類四點時價四十六圓を窃取した

けふの銀相場

鈔票對金票	一二五三〇錢
現大洋對金票	一二〇二〇錢
國幣對金票	一〇九四〇錢
現大洋對鈔票	九六〇四錢

松花江沿岸

最近の狀況に就て

協和會中央事務局次長　山口重次氏談

去る五月三日ハルビンを出發松花江を下り月余に亘つて沿岸主要都市を視察して此程歸京した協和會中央事務局次長山口重次氏は沿岸地方最近の情勢について次の如く語つた

依蘭　依蘭における日軍の信頼は實に偉大なもので私が依蘭に着いた時は丁度日軍が匪賊討伐に出かけて留守だつた、縣民はこれを非常に心配して『ぜひ討伐に行かぬやう』懇請してゐる程である日軍がゐない時は夕方から市中の商店は店を閉めてしまひ馬車等も一台も走つてゐない有樣で全く死んでゐるやうで各家毎に銃眼を造つて今にも匪賊の襲撃に待機してゐるといつた狀態だがそれが日軍が歸つて來ると夜遲くまで人や車馬の交通が絶へないといつた有樣である現在では例の依蘭事件も忘れられたやうに縣民は温順に正業に就いてゐる

佳木斯　佳木斯の屯墾軍については世間でとかくの噂が立てられてゐるが實際はそれどころか彼等は滿洲奥地開發のために獻身的な努力を續けてゐる、全く移民諸君の奮鬪振りは涙ぐましいものだ、移民團の現在數は第一回約三百八十名第二回約三百六十名と聞いてゐるが、脱團者も身体的原因で脱退したものが大部分で、精神的な此等開拓者の結束は賞讚に價するさきに謝文東匪が屯墾軍を襲擊した目的は移民團の兵器、彈藥を覘つたもので、通路を絶たれた武裝移民の四十日間の籠城は我が國民の意氣を遺憾なく發揮したものだ、やがて佳木斯の一角から北滿開發の凱歌が舉る日も遠くないであらう

富錦　富錦は松花江最下流の經濟中心地で年に大豆三千車、小麥三千車、二百萬圓内外の雜貨及び阿片が集散され、相當活潑な貿易港である土地の金持は土着派と山東派の二派に分れてゐるが舊軍閥と經濟的に密接な關係にある山東派が優勢である、この地は現在同地の百萬長者である魯と云ふ七十二歳の老人が宣統二年、今から二十七年前に渡來して開發した土地で、今では縣下の治安は全く完成されてゐる、官民合同で匪賊は一匹も入れない方針で治安に當つてゐる、これでも日本軍に對する士民の心服は絶大なもので、同地には地區防備司令官の凱旋門が造られてゐる位である

松花江沿岸全体　としては相當治安も確立され農民は落ちついてゐるが、まだ共產系の反日會が各地に跋扈して惡宣傳を行つてゐるこの反日會は極く少數で組織して平常は集團をなしてゐないので討伐に非常に困難を感じてゐる、協和會では目下商務會警備團、縣當局と協力、宣撫團を組織して工作を急いでゐるこの反日抗爭會は元來官兵に對抗し續けて來て今では職業化してゐる、會旗に北斗七星の旗を持つて觀音樣と瓢簞をマスコットに腹掛けをかけてゐる、武器としては『もと込め大砲』『もと込め銃』ロシア式小銃等を有してゐて常に何か事件の勃發を待機してゐる、松花江沿岸一帶は豐富な天然資源にめぐまれ今日まで僅か三十年位の開拓史であるが將來佳木斯鐵道でも敷設された曉は急速な發展が豫想されてゐる

長春寺先住

福田師等近く來京

在布哇第二世青年と共に　長春寺で大歡迎會

浄土宗長春寺先住福田闘正師は大正七年渡米目下布哇にあつて布教につとめてゐるが今回汎太平洋佛教青年大會に參列を兼ね日本及び滿鮮各地觀光のため在米國布哇第二世日本人青年二十余名を引率し左の如き日程で來京することゝなつたが右一行の來京を機に長春寺住職伊藤芝信、信徒代表田中卓二の兩氏發起となり歡迎會を開くことゝなつた會費十圓（剩余を生じた場合は一行に當地の繪葉書を贈る）日時、場所は追て發表、申込みは長春寺（電話二九二三番）

一行の日程

▲七月四日（水）午前六時新京着（南より）　同日午前八時四十分發哈爾賓へ
▲同日　午後二時十分哈爾賓着
▲七月五日（木）午後九時五十分哈爾賓發
▲七月六日（金）午前七時新京着、ヤマトホテル一泊
▲七月七日（土）午後十時新京發南行す

玄淨と稱す前科僧に御注意

一昨年暮頃不埒な行ひが重なり市内曙町淨土宗長春寺を追はれた、番僧前科五犯玄淨事谷出金陸といふ五十歳あまりの男また僧形で舞ひ戻り徘徊してゐる模樣があるが長春寺と何等關係が無いから注意ありたいと同寺で云つてゐる

地方委員會

あす例會招集

新京區地方委員會例會を二十六日午前十時から地方事務所長室で開催、左記議案を附議するはず

一、區名並に區長人選に關する件
一、衛生係分離に關する件
一、聯合會決議事項に關する回答の件
一、その他

中西地方部長地方施設視察

中西滿鐵地方部長は地方施設狀況視察のため二十五日午後七時三十分來京、三日間滯在のうへ各學校、水源地、病院その他を視察し、また地方委員との座談會も開くはずで、二十八日午前九時發公主嶺へ向ふ豫定

滿洲事情案内所　視察團説明所を設く

滿洲事情案内所では記念館裏の建物約五十坪を關東軍から借りることゝなつたので來京視察團のうち滯京時間が二時か三時間で各方面を見學する時間のない團體のために同所で國都を中心とした地理、産業、貿易その他を說明し又國都の各方面を見學出來る團體に對しては同所で一時間乃至二時間見學關係方面の豫備智識を與へることとなつた、なほ差支ない限り公共團體の會合にも貸與するはずであると

内地人の増加

前月より三百五十人

附屬地全人口五六、三七四人　何時迄續く住宅難

住宅難に追はれてゐる首都新京の人口は日とともに増加してゐる新京署統計係の調査による六月末日の附屬地内の總人口は五萬六千三百七十四人で、前月末日に比すると四百五十四人增加、内々地人の増加は三百五十人で、他は滿人外國人で獨り朝鮮人のみが増加を見ず八十人の減となつてゐる、今各種別にすると内地人二萬六千七百四人、朝鮮人二千八百九十六人、滿人二萬六千三百三十八人、外國人四百三十六人で、内地人が第一位である、このまゝで進むならいつまでも新京附屬地の住宅難は解決されない

本社谷經理送別宴

本社經理谷啓二郎氏は今回一身上の都合により圓滿退社郷里岡山に歸省することゝなつたので本社では二十四日午後七時からヤマトホテルに同氏送別宴を開催　谷氏、染谷本社代表、十河總務、松本編輯長、水越新任經理等二十名出席デザートコースに入るや染谷本社代表は創業以來社務に盡瘁、本社今日の隆盛に向へるは谷氏に負ふ處多いこの際において谷氏を失ふことは甚だ遺憾であるとて本社創業以來の經過と谷氏の功績について述べたるに對し谷氏は起つて

大正九年創業と共に入社、中央通り以西には家屋がまばらであり、日本橋通りも金泰洋行以南また數へる程しか家のなかつた昔更に本社北東三條橋附近には夜な夜な追剝の出た長春實業新聞創立時代から今日の日日と隆盛を見つゝある新京日日の今日の姿と比べみてその間實に感慨無量なものがある、今その十有五年苦樂を共にして來た新京日日と別れて故郷に歸るのは後髮をひかれる思ひである、併しこれが下り坂の時に去るのと違つて日一日と隆盛を極めつゝある際去るといふことは別れを惜しみながらも一面また愉快にも考へられるのである今後も一年一度位づゝは來京してスクスクと健全に發展してゆく新京日日の姿を見たいと思ふ旨の謝辭あり、次で谷氏及び新京日日新聞の萬歳を三唱して午後九時盛會裡に閉會した（寫眞は谷氏）

ハルビン賽馬壽搖彩票當籤番號

【ハルビン國通】國立ハルビン賽馬壽搖彩票當籤番號は左の如く發表された

一番	三三三四	九〇〇
二番	三三三七	三六四〇
三番	三三九八	一八五七
四番	一七四五	三三〇八
五番	三三六六	九六〇
六番	三一三	二一六一
七番	二五九四	三三二六
八番	一六五六	七七三
九番	二六四三	一八二三
十番	一五六一	一四八八
十一番	三一八	三二八
十二番	一三六八	一七六四
十三番	一三〇一	一七三一

右番號中
一等當籤（六番）配當金　三、六五五圓
二等當籤（五番）配當金　一、〇三三圓
三等當籤（十一番）配當金　五一一圓

滿洲國勝つ

日滿對抗二回戰　6—5

日滿對抗野球戰第二回戰は廿四日午後四時二十分より西公園球場に於て孫（球）股野、香川、梶原四氏審判の下に滿洲國軍先攻にて開始された、滿洲國軍二回二點、四回四點を擧げ、之に對し新京軍一回一點、七回三點、八回一點を擧げ後半の追及遂に及ばず結局六對五で滿洲國軍勝つ、閉戰六時十分、スコアー並にバッテリー左の通り

滿洲國	0	0	2	4	0	0	0	0	0	6
新京	1	0	0	0	0	0	3	1	0	5

△バッテリー
滿洲國―柳原、竹田
新京―藤井、古賀

早大大勝

對滿倶二回戰　6A—1

【大連國通】早稻田大學對滿鐵倶樂部野球第二回戰は廿四日午後二時五十分より鈴木（球）吉田、野原（壘）三氏審判の下に滿倶の先攻にて開始され六A對一で早大優勝す、閉戰四時五十分、バッテリー及びスコアー左の如し

早大　阿部、永井
滿倶　中澤、宇佐美

早大	0	0	0	0	0	5	0	1	A	
滿倶	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1—6A

滿洲軍勝つ

對全鐵道柔道

【大連國通】全鐵道省對滿洲軍柔道爭覇戰は廿四日午前十一時十分より中央公園滿鐵テニスコートで佐藤、小谷、神田三氏審判の下に開始、滿洲軍は大將伊勢を殘して堂々と優勝した閉戰午後二時四十分

花ごよみ

▲ミス新京の日登美さん二十一日の晩「おたのしみでしたネー」と、いひたいがさぞ痛かつたでせう、ピストルの音かと思つたら顔に一撃「パチン」然し彼氏の手練痛い所に甘い味があるお蔭でベン氏がせつかくチヨコを並べてから飲んだ酒も甘くなつて翌日腹下しとはなんぼつらいか▲ミス新京のタカ子、それ者出身だけあつてサービスはお手のものソレに氣前のいいことこの上なし「コーヒーとケーキ位な、何時でもおごつてあげるワ」と…だがあんまり無理しなさんな▲ノラノブ子プランタンからテンキして來たヤリ手、ヨーサンに、滿洲國のトーサンを手玉にとるあたりイカモノ喰ひの眞鉄タツプリ▲パーダイヤのヨシ子最近結婚するさうですが、この間、祝町を瀟洒しい彼氏？と寄り添ふて歩いてゐました、結婚したのか、しないのかヨシ子ファン氣をモムこと▲サロンキングのレイ子前借踏み倒し組の片割れですかつては教壇に上りチイチイパツパチイパツパと教鞭を振つた經驗を持つ彼女ですが今は赤い灯の下に女教員くづれのウラブレた姿でサービスに余念がないとは、世の中も變れば變るもの

新版江戸八景（上映上演）

行友李風氏作　岩田専太郎(?)・鈴平他二氏畫

江戸役者と御殿女中　八三

行友李風

はつとした牛六、あはてて、楊子をさぐらうとしたが、

『えつ！師匠が？——』

『つえ、さようで。——では、ござますから、ごめんなすつて』

使い走りの金助は、いふだけいふとあはただしく戸外に立ち去つてしまいました。

『お、金公——ちよいと、待ちな。——』

と、聲をかけたがもう、そのあたりにはゐない。

『ちえ！すばやい野郎だあ』

牛六、舌打してあと見送つてゐると、心配げに出て來た女房お藤が、

『お前さん、師匠から呼び出しつて、何だらうね。——え——、二三日、病氣だといつて休んでゐたのが、ばれたんぢやないかね。——』

『いや、そんな生やさしいこつちあるめえ。——』

牛六、腕こまねいて、

『ひよつとすると、何だ。——お奉行所から俺の一件を吹きつけたのかも知れね。——』

『えい！ちや。——どうなるんだえ？』

『さうさな。——まあ悪くていつて、師匠の縁切り、重くゆきや三座お構いだ。！』

牛六は、かういすてると、ふいに、

『あ、羽織を出しな。——』

『えい！ちや、お師匠さん、ゆくつもりかい。』

『うん——來いといふんだ。行かざあなるめえ。——』

『でも。——』

『いゝつてことよ。——心配しねえで、待つてゐな。——叱くいつたところで、なか[illegible]てら』

云ひすてゝ、我が家を出た牛六——夜道を急いでやつて來たのが葺屋町の師匠の中村七三郎方。

玄關にはいつてみると、かれこれ二十人近い人の下駄がぬぎすてゝある。

——はてな……これや仲間共の下駄のやうだが、してみると呼ばれたのは俺一人ぢやないな。

思ひつつ案内をそうて通されたのは、二十疊敷位の廣室。

そこには、柿中似上の役者が控へてゐます。

『今晩は、——』

新相手の身分だから、端近について近くの人に挨拶すると、

『や、牛六か——この二三日病氣だといふことだつたがどうしたね——見舞にもゆかなかつたが、少しはいゝのかい。』

『は、ありがたうござんす。なにもうすつかりよくなつたので明日から、出ようかと思つてゐます』

などと挨拶してゐると、まあなく、上座にあたる向ふの襖があいて入つて來たのは座元市村竹之丞と、座頭中村七三郎。

『今晩、急に集つてもらつたのは、他でもないが』

と打沈んだ調子で口をひらいた七三郎。

『實は、今日、座元さんがお奉所へお呼び出しなつて、向ふ一ヶ日、間欅お構ひ、興行一切差止めと、お仰せ渡しをうけて來なすつたのだ。——』

『え、！櫓お構ひ、——』

一座が、急にざはめき打つ。

七三郎は、それには答へず、つづけて、

『どうかういふわけと、はつきりした事情を仰しやらないので見習り越しの役人衆にお尋ねしたところが當座出中の生島大吉が、掟を破つて、尾張様の大奥へ忍び込んだといふ話……』

（つゞく）

火曜　戊辰　先勝　開　翼宿　六月廿五日　旧五月十六日

●一白の人　過去の失敗を繰返さぬ様警戒し愼重か安全　乙と申と辛が吉

●二黒の人　荒波を乘切りて漸く港に着きたる船の如し　申と辛と寅が吉

●三碧の人　沸き立つ心を抑へて冷靜なるが失敗を避く　乙と丙と丁が吉

●四緑の人　勞苦を厭はず一辛棒と我慢すれば樂となる　丙と丁と辛が吉

●五黄の人　大事の前の小事と他の壓迫をも氣にするな　丙と辛と寅が吉

●六白の人　停滯ぜる事も次第に有利に展開の曙光あり　申と辛と壬が吉

●七赤の人　心に秘めんよりも識者の意見を求めて满め　壬と癸と寅が吉

●八白の人　夕立一過して其後凉しく暑熱を忘るゝ如し　丙と辛と寅が吉

●九紫の人　盛運なれども才智に誇り力を頼みて敗あり　甲と丙と丁が吉

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

朝刊 本紙夕刊共八頁
本紙一部五錢 一ケ月一圓
廣告料 普通一行 一圓三十錢 特別 二円五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 谷啓二郎

滿洲國豫算愈よ大詰

特別會計査定終了

一般會計を合せば三億圓突破！

建實な國家財政の發展ぶり

技術的統制成る

滿洲國政府では康德元年度豫算編成に當り豫算の技術的統制を圖るため十一項目の特別會計を設け主計處に於ては既に之が査定を了へ廿五日の閣議に於て各部大臣に內示した模樣である、即ち其內容は

康德元年度會計別歳入歳出豫算表

會計別	歳入	歳出
一、特別會計豫算	一三六、四三四、二三三	一三六、九五六、七〇五圓
▲總務廳所管		
關税及鹽税擔保舊外債整理基金	三二、三三三、九〇〇	三二、三三三、九九〇
國都建設局	九、六六一、〇一五	八、七五〇、一三七
需品	一一、三一六、六三五	一一、三一八、九六七
減債基金	五、五四二、一五四	五、五四二、一五四
▲軍政部所管		
被服廠	七、二九六、七七一	七、三九七、一八九
軍械廠	七、〇〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇
▲財政部所管		
專賣公署	二三、七二四、〇〇〇	二一、一五八、八七二
吉黑榷運署	一七、三一〇、二七七	一五、三三五、三三五
國有財產	四、六四五、〇四〇	四、四九一、九三三
整理資金		
投資	一三、一一三、六六〇	一三、一二〇、六八〇
▲交通部所管		
郵政	三、五〇三、四五一	三、五〇三、四五一

右の內大同二年度と異る點は、北滿特別區會計及國道局を特別會計豫算より一般會計に移入した事で、右特別會計豫算一二六、九五六、七〇五圓を一般會計一八八、七二五、〇五八圓に加ふれば、滿洲國康德元年度總豫算は實に三一五、六八一、七六三圓の巨額に達し、健實な國家財政の發展を如實に物語つてゐる

國務院會議 提案事項

二十五日の第十七次國務院會議に提案された議案は次の通りである

一、公司資本に關する件
一、康德元年度豫算に關する件

南阿、エジプトに公使館 外務省の計畫

【東京國通】外務省では貿易關係の緊密な國に外交關係をも密接にすべく南アフリカ、エジプトに公使館新設方を、また滿洲及び印度へも適當な機關設置を目論んで居り同樣明年度豫算に計上要求することゝなつた

在哈白國總領事館移轉說 注目さる

【奉天國通】ベルギー皇帝の登極を日本皇室に正式御報告の爲め日本に差遣はされた特派大使ウイリアムタイス氏は歸國の途次奉天に立寄つたが右に關し某方面の報道に依れば大使今次の來奉は目下ハルビンに在る同國總領事館を新京或は奉天に移轉すべく其下打合せの爲めで近々之が實現を見る模樣であると、右は同國の對滿政策の重大な變化を物語るもので、滿洲國正式承認の前提とも觀られ大いに注目に値するものがある

最大收獲は宮殿と居室

渤海國の遺跡調査を了へ ＝原田助教授語る＝

【ハルビン國通】今から千二百年前滿洲人の手で建設され二百年間渤海國の首都であつた東京城の古跡を約一月間に亘り調査中であつた東京帝大原田助教授、帝國博物館委員三上繼男氏等一行八名は二十四日午後四時五分歸着、東部線列車でハルビンに引揚げアジアホテルに入つたが原田教授は語る

昨年に引續き渤海國遺跡調査を一月間東京城を中心にして行つたが千二百年前に建設された渤海國の＝首都＝だけあつて東京城の調査は興味津々たるもので、今回の調査で最大の收穫は渤海國王の宮殿と居室を發見し更に日本の文獻にはあるが渤海國と日本との國交のあつたことを證據だてる奈良朝時代、元明天皇の發行遊ばされた日本最古の古錢（和同開珍）を國王居室の跡から一枚發掘したことだ、古錢を手にして千二百年の昔、日滿兩國の祖先が今日の如く握手してゐたかと思ふと全く愉快である當時の宮殿寢間は九間四方で柱と柱の間が約十二尺で其の中央に國王の寢室があり左右兩間はオンドルの部屋で煙道等を發掘した、滿洲人の滿洲に建てた獨立國と云ふのは渤海國と今日の大滿洲帝國のみで、當時の首都東京城は一里四方で中央には幅四十間の道路があり、其の兩側が左京＝右京＝となつて居り、日本の奈良朝、平安朝の都と同一で現在東洋文化を殘してゐるのは東京城丈けだ、東に內城の城南門、大奥殿の跡から石造の獅子頭、煉瓦、文字瓦等を發掘した城內に四棟の御殿があるが皆廻廊で繫かれてゐる、千二百年前の渤海國と日本との交通經路は敦賀を出港、日本海を橫斷し圖們江、牡丹江、敦化を經たもので渤海時代に三十數回の往來があつたものである云々

尙一行は二十六日ハルビン發南下の豫定である

大藏の增收計畫

最低一億五千萬圓の財源捻出

【東京國通】大藏省は最低一億五千萬圓の財源捻出をなしとし左の增收計畫をなす

一、增税又は新税創設
一、鐵道利益金の一般會計繰入れ
一、郵便料金値上げ
一、煙草値上げ

軍司令官を中心に一元的統制を要望

＝對滿政策と陸軍の意嚮＝

【東京國通】對滿政策解決を企圖し陸軍では三位一體より實質的な在滿最高の指導統制機關の設定を計畫し一元的に軍司令官を中心に政治、經濟の幕僚を配し企劃局と提携し日滿ブロツクを完成せしめんとして考究中であるが、右は事變後の關東軍の指導方針を首尾一貫させるものとして要望されて居るので中央部の態度は注目されて居る

ボリビア、パラグワイ國境 依然戰爭

【アウンション「パラグワイ」廿四日發國通】南米ボリビア、パラグワイ兩國は國際聯盟米國等の武器禁輸決議を尻目に依然として國境方面に於て戰爭を繼續してゐるが、同時に戰爭の結果に對する宣傳戰も猛烈を極めてゐる即ち去る廿五日ボリビア側では一週間に亘りバリバン要塞戰でボリビア軍は壓倒的勝利を得、パラグワイ軍の死傷者は二千に達したと發表してゐるが、一方パラグワイ陸軍省は右報道を否定しバリバン要塞戰に於てボリビア軍が勝利を博したと稱するのは全然事實無根である、事實は寧ろ反對でボリビア軍は死者二千、負傷者二千五百に上つて居ると發表した

電々會社新京工務所長 水內氏着任

久しく欠員中であつた電々會社新京工務所長には遞信省小田原出張所長水內喜代次氏が就任、廿六日午後七時卅分新京驛着列車で單獨着任する

通車解決を機に

奉山線運轉時間改正

【奉天國通】各方面の多大なる注目裡に北平、奉天間の直通列車運轉は愈々七月一日より實施される事になり、奉天北平間の鐵道は國際的大幹線として再び華々しくスタートする事となつたが右實施に伴ひ奉山線の列車番號及び發着時刻を左の如く改正、七月一日より實施することゝなつた

百十一號列車（急行）奉天發八時、山海關着十六時四十八分
百十三號列車、奉天發十時四十分、山海關着二十一時二十六分
百十五號列車、奉天發二十時五十分、山海關着八時十五分
百十七號列車（吉林、山海關線）吉林發二十二時五十五分、山海關着十時四十三分
百十二號列車（急行）山海關發十時四十五分、奉天着十九時四十分
百十四號列車、山海關發十八時四十分、奉天着六時
百十六號列車、山海關發六時五十分、奉天着十八時十五分
百十八列車（吉林、山海關線）山海關發二十時五十分吉林着八時十五分

友澤〇隊 匪團を擊滅

【吉林國通】第〇〇〇〇隊友澤〇隊は二十三日鏡泊湖東岱乙溝附近に於て約百五十の匪賊と遭遇、これと交戰潰滅的打擊を與へて擊退した、敵匪の遺棄死体二〇、この戰鬪で二等兵小島福一君は身に數ケ所の貫通銃創を蒙り壯烈な戰死を遂げた

ドルフス首相 ム首相訪問

【ローマ二十四日發國通】オーストリア首相ドルフス博士は來る七月一日イタリーを訪問しムツソリーニ首相と會談を遂げる事になつた、ドルフス首相は先週フランス外相バルツー氏よりパリ訪問を招請されて居たが、パリ訪問はムツソリーニ首相との會談後迄延期される筈である

英海相の軍擴演說

建艦熱を誘致

我海軍部內の見解

【東京國通】既報英國海相モンセル氏の軍擴演說に對し日本海軍當局は批判を避けてゐるが部內專門家の見解は次の如く一致してゐる

一、責任ある英海軍がかゝる演說をなす事は歐洲一般に軍縮交涉が物にならず佛伊兩國の軍擴に刺戟され加ふるに米國との比率に甘んじ難き英米間の意見の相違から英海軍が少なからざる脅威を感じてゐる事を立證するものである

一、抑々英米の海軍力に對する意見の確執は米國が一萬噸巡洋艦を起工した事に對し艦型縮小を非公式ではあつたが英政府が米政府に要求した處拒絕された爲め英海軍の對米軍擴熱は急速度をもつて橫溢するに至り英國は本年度造艦計畫六千五百噸巡洋艦四隻を九千噸二隻五千噸一隻に改めた程度で又主力艦は勿論軍艦全體について英國の小艦多數主義に對し米國の大艦少數主義が根本的に相容れざることも英米確執の重要なる一因であらう

一、一方大陸方面の關係に於ても佛は一昨年末に十三、四吋砲搭載、速力三十四節の能力を有する二萬六千五百噸の高速戰艦を起工、更に同一戰艦の追加造艦計畫を樹てるに至つた外フランスは潛水艦に於ても空軍力に於ても極めて優勢であるので英國は脅威を感ずる譯である

一、而もイタリーは三萬五千噸の造艦計畫を進めつゝある折から今次の英海相の言明は世界列强海軍の趨勢に鑑み海軍及び空軍力の擴大强化を期するものではあるまいかと觀測される

一、要するに英米兩國間の情勢が斯くの如くである以上英海相の言明は海軍豫備交涉に極めて重要なる影響を齎す事になるであらう

佛參加決定で

豫備交涉愈よ本格的

本會議參加、不參加は留保

【東京國通】松平駐英大使より外務省への報告に依れば、フランス政府は廿二日英國政府に次期海軍會議の豫備會商に參加する旨を通達したと、而して右の內容を確聞するにフランス政府は豫備會商には參加するも來年の本會議の參加、不參加は之を留保し本會議にはドイツ其他最も緊密なる利害關係を有する[illegible]國の同時參加をも條件としたものと觀られる、尙フランス外相バルツー氏及び海相ペリトリー氏、ユルビン大使等は來る七月四日パリ發ロンドンに向ふ事となつた斯くて豫備會商は佛、伊の正式參加に依り愈々七月から本舞臺に入る事となつた

反對を押切り

米の軍縮延期論旺ん

【ワシントン廿四日發國通】日本及英國の反對にも拘らず米國では明年の軍縮延期論旺んで左の理由で支持されてゐる

一、日本の增率要求は艦種選擇自由とか自主的必要量とかの變形に依る提案をしようとも正理由なくんば會議では容れまい
一、イギリスが巡洋艦廿二隻增艦を豫備會議で擔ぎ出しジユネーヴ會議の決裂理由の艦種縮減案を依然提案する以上アメリカと對立する
一、獨露參加の可能性と佛露とイタリー、ドイツのブロツク化の懸念とは會議を益々暗澹たらしめ佛伊の建造計畫は日英米交涉へ支障を來す
一、會議延期はロンドン條約廿三條違反といふ意見は豫備會議で延期を申合せば調整し得る

滿鐵辭令

安東保安區長 雇員 景山元
新京鐵道事務所技術方を命ず 用度事務所庶務課事務助手 雇員 安部勝一
鐵道建設局新京分所事務助手を命ず

日滿互惠關稅委員會 ハ市で開催

二重課稅撤廢方協議

【ハルビン國通】日滿互惠關稅問題繼續委員會は二十四日午前十時より當地田地街總商會樓上會議室に於て全滿日本商工會議所代表及ハルビン稅關、總領事館、國際運輸等各機關代表二十餘名出席の上開催、新京商工會議所提出の日滿互惠關稅品目協定案を中心に各代表共忌憚なき意見を吐露し具体的協定案の作成に努めたが、結局問題の重要性に鑑み、次回に讓る事として同問題の審議を打切り、最近問題となつてゐる松花江沿岸向きの貨物に對する二重課稅撤廢方請願に就き審議し、滿洲國側總商會と步調を揃へ近く滿洲國中央部に同課稅の撤廢方を請願する事となり、午後三時閉會した

天氣
氣温 最高 三十一度八 最低 十八度二
日出 前三時五十七分
日入 後七時二十六分
月出 後六時五十三分
月入 前二時十四分

讀者の聲

◀中傷はとらず▶ 住所氏名明記の事

馬車に日除をつけては如何 平林生

新京のバスも相當利用されてゐるが、まだまだ馬車に壓倒されてゐることは事實だ、その新京の主要交通機關である馬車がジリジリと照りつけるけふこの頃の日中に、無蓋でつゝ飛ばさうといふのだから、ヨツ勇ましい限りだが、馬車組合あたりで一つ日よけもつける樣、考案なされては如何です？これは是非とも實行して貰ひたいものです馬車に乘ると尻が燒ける程暑いなんてどう考へてもあんまりよい氣持はしません、若し日よけをつけないのでしたらその理由を御回答願ひます

寒苦と孤獨に闘ひつゝ バード少將南極で氣象觀測

【リツツルアメリカ「南極地方」廿三日發國通】第二次南極探險隊長バード少將は去る三月末以來一行の根據地リツツルアメリカの南方百二十三哩の氷上に小さな小屋を建て既に三ケ月間全隊員と離れて唯一人零下七十度の寒氣と闘ひつゝ寒苦孤獨を忍び、極地の氣象觀測に從事してゐるが二十三日少將よりリツツルアメリカの本部に達した無電に依れば、バード少將は去る十七日無電セットの發電機より排出される一酸化炭素の爲危ふく窒息しさうになつたが辛じて事前に不幸を防止し、死を免れる事が出來た、酷寒地に文字通りの孤獨の事とて隊員一同も少將の身の上を案じてゐるが少將の觀測計畫は豫定通り實行されゝば約八ケ月かゝる譯であるから後まだ五ケ月間ばかり此小屋に立籠る筈で、その勞苦の程うかがはれる

滿ソ水路會議に滿洲國代表大黑河へ

【ハルビン國通】大黑河に開かれる滿ソ水路會議に出席の滿洲國側代表島崎交通部事務官、堀內航政局事務官、滿洲側顧問日本海軍特務機關長黑木少佐及び木村通譯は二十五日午前七時五十八分ハルビン發飛行機で大黑河に向つた

滿洲の實狀を科學的に調査 ブ博士語る

【神戸國通】過日「淺間丸」で來朝した米國ジョンホプキンス大學教授アーネスト、Bプライス博士は滿洲國に關する學術的調査を試みるべく齋藤駐米大使の紹介狀を携へ二十五日神戸出帆の「はるびん丸」で大連に向つたが氏は語る

約四ケ月に亘つて滿洲建國後の實績に關する一般狀態を科學的に調査する積りだ南京には十六年も滯在した事もあるので滿洲人に直接接觸し充分調査の上は一學究の人として公平無私の立場から滿洲事情について執筆する考へである

ル大統領 近くハワイ訪問

【ニユーヨーク二十四日發國通】ルーズヴエルト大統領は愈々來る二十日巡洋艦「ヒユーストン號」（九〇五〇トン）でアナポリスを出發し途中パナマで巡洋艦「サンフランシスコ」（一萬トン）に乘替へてハワイ訪問の途に上ることとなつた

北鐵東部線貨物列車匪襲

穆稜から日本軍出動

【ハルビン國通】廿四日午後三時廿分頃北鐵東部線傮馬溝穆稜間を進行中の第九十二號貨物列車は匪賊の爲線路五六米破壞せられた爲、大音響と共に機關車貨車二輛脫線顛覆線路兩側に潛伏して居た匪賊は一齊射擊を浴びせかけ、貨物を掠奪した、尙匪賊は機關士、火夫及び乘客六名滿洲國軍將校一、兵一名を拉致した急報に接し穆稜駐屯の日本兵〇〇名は救援の爲現場に向け出動した

偶語

西公園の入場料問題、一部では果然反對論が相當强いやうである、過日の本紙讀者欄にもあつた通り、苦力の制限が日滿親善に反するといつた議論も一應首肯できる▼だが苦力は特種階級であり同じ滿人間でも特種扱ひを受けてゐることが認識されれば大した問題もないはずである、尤もその特殊扱ひが可けぬといふならそれまでだ▼たゞしかし制限論者のいふのは純理論ではなく實際論であり特種扱ひといふ事實が日滿人間に現認されてゐる以上、致し方ないといへばいへる▼そこで制限論が成立つと假定して、さてそれ故に入場料を取るかどうかは吾々當面の問題として考へなければならないであらう、入場料以外に他にもつと適當な方法はないか▼上海の公園では「犬と支那人は入るべからず」と麗々しく書かれてある、場所もあらうに支那の大都その中央の出來事であるから外人の大膽には驚くが、まさか吾々はそれを眞似るわけにはゆくまい▼そこで考へた揚句が手近の奉天に倣つて入場料徵收と來るが、奉天の公園なら入場料大枚二錢の價値はあつても、わが西公園はそれほどの値うちがあるかどうか▼地方事務所が、今後施設內容を充分にしたらそこで初めて入場料を徵收しやうといふのは用意周到である、苦力制限料といふのなら格別、入場料といふ名がつく限りまだまだ考へる必要はあらう

潭月池の魚釣り 七月一日から開始 一人二本以内料金は四圓 ヒ鯉、ヒ鮒は不可

太公望たちが待望の西公園潭月池の魚釣も例年通り七月一日から左記により一般に開放することゝなつた

一、期日七月一日から九月中旬まで毎日午前三時から正午まで
一、魚釣證代價、一人につき金四圓(但し一人で釣竿二本以內とす)料金と引替へに魚釣證(木札)を交附す
一、場所潭月池(ボート池)に限る
一、緋鯉、緋鮒を釣上げた時は直ちに解放すること
一、ボート乘客と喧騷せざる樣各自注意すること
一、魚釣證は常に携帶して監視人の要求ある時は示すこと
一、服裝は各自自重して見苦しくない程度にすること
一、魚釣證は西公園事務所で二十七日から發賣す

これから日一日と 晝が短くなる 廿二日夏至も過ぎた

去る廿二日が暦の示す「夏至」であつた、この日を中に前後二日づゝが一年中で一番晝のながい時である夜間が九時間と二十五分、晝間が十四時間と三十五分づゝで廿五日になると晝間が十四時間と二十四分で一分減りこれが四日つゞき、またそれから一分減るといふやうにポツポツと夜の領分の方が殖へて行くのである

忠靈塔建設寄附金 募集締切迫る 相次いで本社宛寄託

忠靈顯彰會の事業、滿洲に建てられる四大忠靈塔の寄附金募集は愈よ今月末日を以て締切りとなるが、その後本社に寄託を受けたものは金三圓市中の無名氏、金四十二圓十八錢國際運輸新京支店員一同、金十圓市内常盤町二ノ八松田武彦氏の三口でこの小計五十五圓十八錢、本社の受託開始以來の累計五千七百四十六圓三十二錢である

八月中旬吉林で 童子團の指導訓練

滿洲國童子團では童子團指導者の訓練を目的とし八月中旬頃吉林に童子團指導者實修所を設置し日本より少年團日本聯盟理事三島通陽同じく役員在鄕海軍大將竹下勇の兩氏を招聘し約一週間に亘つて講義を受ける模樣である

日滿教育連絡會 文教部で開催

文教部主催日滿教育連絡會は二十五日午前十時より文教部會議室に開催され、去る廿三日の滿洲帝國教育會創立總會に出席した各省各特別市、教育界代表並に中央側より許次長、西山、上村兩司長、日本側よりは日本帝國教育會理事武部欣一氏、同評議員阿部宗孝氏、關東廳田邊學務課長、滿鐵有賀學務課長等四十餘名出席し、午前中は西山總務司長より滿洲國各級學校の狀況につき、上村學務司長より滿洲國教育の現狀に就き詳細なる説明あり、午後は主として滿洲國の教育問題に就き日滿兩代表間に忌憚なく懇談的の意見交換を行ひ四時過ぎ散會した

新京飛行隊 けふから爆撃演習

新京飛行第〇〇〇隊では二十六日から二十九日まで四日間毎日午前八時から午後一時まで飛行場西北端の爆撃場で爆撃演習を實施することになつた

全國孝子節婦の德を讃へる爲 文教部が記念品を贈る

三月一日帝制實施を記念とし文教部では全國の孝子、節婦四百十一名を表彰したが、更にその德を永く讃へる爲記念品を贈呈することになり、最近製作を了へたので七月一日一齊に全國の孝子、節婦に贈ることになつた、右記念品は縱一尺、横八寸 重量七十五匁の銀製楯で額を龍の浮彫で飾り全面にその人の業績が細かに記されてゐる

保安主任會議に 加藤、原氏等出席

關東廳管下各署保安主任會議は來る二十八日から旅順關東廳で開催されることになつたが、新京署から加藤保安主任、佐伯巡査、同新京總領事館署原保安主任が出席することになつた

蒙兵將校養成の 興安軍官學校 =鄭家屯にて開校=

滿洲國皇帝の直隸下に屬する興安軍官學校は、興安各警備軍中より滿十七年以上同二十一年以下の少壯兵士の優秀なる者を選拔し將來國軍蒙兵將校の登龍門となるが、右學校を興安南分省札特旗王爺廟に設置の計畫で之が竣工迄鄭家屯滿鐵公所内に假校舍を以つて教育を開始する事となつた、因に同校組織內容は次の如くである

一、校長 南警備軍司令巴圖馬拉布坦
二、監事 滿洲國軍政部顧問陸軍步兵少佐下永憲次、同金川耕作 同陸軍一等主計渡邊昇

尚副官處、軍事處、醫務處、教育部、生徒隊研究部より成り、教育部には日人軍官四十三名、蒙人軍官廿三名を基幹として生徒隊に加へ、生徒隊は二ヶ中隊に分け修業年限二ヶ年にして一年次を豫科生、二年次を本科生とし

一、人物養成の目的の下に精神訓話(軍人精神の涵養)
二、普通學生班(蒙、日文を以て爲す)
三、軍事學術訓練

に力を注ぎ教育するものである、尚生徒は六十名を限度とし總て生徒は官費である

鄭總理訪日 トーキー 今夕新京神社で映寫

鄭國務總理大臣の在日四十餘日の動靜をトーキーに收めた滿鐵弘告係はこの程編輯を了し二十六日午後八時より新京神社境內に於て鄭總理大臣その他關係者を招き映寫會を開くが市民一般にも納涼をかねて公開すると

至急電話の取付け 遲くも七月末迄に 工夫の應援を各地へもとむ

新京中央電話局の本年度電話至急開通申込みに對する抽籤は一日室町小學校で行はれることに內定してをり、遲くとも四五日ごろまでには當選申込者は正式加入申込みの手續きをするやう通知するはづであるから工務所ではこれが決定次第工事に着手して七月末までに全部架設を終了する計畫で大連、安東、奉天へ工夫の臨時應援方を依頼した

學生風の男に うまうまと爲替を盗まる 親切な男に御注意

新京大和通五十五番地楊乘壽氏方朴有時が去る十日本籍地朝鮮慶尚南道咸陽郡安義面草東里金判順氏に宛十六圓の電報爲替を送付すべく、新京郵便局に行くと學生服を着した一面識もない朝鮮人が送付の手續をなしてやると稱し手續をしたが同爲替は同月十三日受取人不明で朴有時に返戻されると、前記の男が突然現はれ、親切らしく前の手續が不備であつたから更めて送付をするとて十六圓の電報爲替を持ち去つたので朴は送付されたものとして安心してゐると二十三日金判順から屆かぬとの通信があつたので、朴は驚き右の旨新京署に屆出た同署で取調べると同日新京郵便局で拂出をしてゐることが判つたゝめ目下同署で犯人捜査中である

吉林省五常縣に 邦人コレラ患者發生 =當局防疫に必死の活動=

(吉林國通) 吉林省五常縣城内にコレラ發生し、而も患者は日本人と判明、當局は狼狽必死の防疫陣を張る事となつた

學校だより

室町卒業の 竹内健君の奇篤

室町二丁目の竹内健君(一六)は本春室町小學校高等科を卒業後、滿鐵理事公舘に給仕として働いて、健氣にも父ない後の家庭を母と弟妹三人と貧しいながら五人の暮しを立ててゐるが二十五日僅かな俸給の一部を割いて母校へ金一封を寄附した、學校では同君の擧に痛く感激してゐる

室町小學校の 体力測定

室町小學校で二十五日高等科一年生の体力測定を行ふため百米競爭、走幅飛、懸垂を實施した尚廿六日は各訓導の教授方法の研究會を開くこととなつてゐる

室町川野訓導 鐵路學院へ

京競技界の雄、トラック、フイールドの記錄保持者として知られてゐる室町小學校訓導川野達也氏はこのほど奉天鐵路學院講師に榮轉、二十六日午後四時半發列車で赴任の途につくこととなつた

商業藤原教諭 大連へ

商業學校藤原教諭は大連で開催されるオール鐵道軍柔道大會に出場のため二十四日大連向け出發した

商業赤塚教諭 廿七日歸京

商業學校赤塚教諭は二十五、六兩日大連で開催される滿鐵教科書編輯會議に出席のため去る二十三日新京を出發したが二十七日歸京のはづである

新京高女生 映畫觀賞

女學校では二十五日正午から職員生徒一同新京キネマで映寫中の忠臣藏を觀賞した

普通學校の 國語批評教授

普通學校では二十四日午前中一年生に對して鄭、劉兩教員の國語(日本語)批評教授を全職員參觀のうちに實施し、午後校長室でこれが批評會議を開き國語教授法について研究討議した

青訓所へ 大本六二氏寄附

新京青年訓練所が六月廿三日四日に亘つて、露營野外演習を實施することを知つた日本橋通自轉車業大元六二氏は青訓教育が、眞に國家的事業で、非常時に直面せる帝國の青年教育上極めて有意義であり、殊に新京青年訓練所が滿洲北鎭の青訓として勇躍その使命に邁進しつゝあることを念ひ、此の趣旨を自覺して、早朝、訓練に親しみつゝある在所生一同を慰むべく、せめては營夜の小夜食なりと御馳走したしとて金五圓也を新京青年訓練所に寄贈した、辻主事は感激して語る、

新京人士が斯くも青訓事業に多大の關心と後援を吝まざる態度は、青訓生に多大の感銘を與ふべく、任にある吾々主事指導員も亦此の御期待に副ふべく、より一層の努力をつゞける覺悟だ

寄附

市内富士町四ノ一六安生惠壽氏は廿五日故夫人の忌明にあたり室町小學校父兄會へ一封を寄附した

故榎田元吉氏の 遺骨鄕里へ

先に逝去した市內三笠町一丁目陸軍御用達勳八等榎田元吉氏の未亡人タネ子さんは故人の遺骨を鄕里鹿兒島市の菩提寺に安葬のため二十七日午前九時發列車で歸省することとなつたが何かと取混んでゐるので挨拶廻りをしないから惡しからずとの事である

通遼方面 貨物輸送復舊

既報、通遼附近における洪水は既に減水して旅客列車は通常通り運行したゐたが貨物は未だに一部の取扱ひを中止中のところいよいよ減水の度を增して來たので廿五日から通遼着貨物中鄭家屯方面から輸送される食料品及び急送を要する貨物に限り取扱を開始した

農安縣に 協和會分會設置

協和會新京辦事處では農安縣民の要望により增田、孫兩工作員を派遣し分會設置準備を急いでゐたが去る二十二日紀井本部委員、縣參事官はじめ五百を越へた日滿官民を迎へて盛大に農安縣分會を結成した

井上遼陽署長 着任挨拶電

新京署保安主任から遼陽署長に榮轉した井之上理吉警部は二十四日朝發任地に向つたが二十五日午後左の電報を本社に寄せた

無事着任在勤中の御厚誼を謝す

新京はやつぱり― 軍人様の天下 けふ此ごろの簡易宿泊所 就職百パーセント

せち辛い就職難に喘ぐ世の中でも、滿洲はやはり軍人出身の天下である、東公園內の新京簡易宿泊所では相も變らず宿泊希望者が殺到し斷りきれない有樣で、目下定員三十五六名を收容してゐるが、その全部はいづれも職を求める人々ばかりでこの冬いらい解氷期の來るのを待ちこがれてゐたものも少くない、ところが解氷期とともに各方面とも漸く活氣づき求職者もずんずん捌けてゆく狀況で、殊に軍人出身者の就職率は百パーセントの好景氣である即ち先月中の就職者は軍部關係二十四名(主として警備員)滿洲國關係五名、土木建築請負業六名商店五名、會社一名、計四十一名、去年の僅か七名に較べると雲泥の差で、これは小野寺同所主任を始め係員の努力に俟つもの多いが、本月も先月以上の好成績で、大同殖產の警備員百名の採用に對し同所宿泊の在鄕軍人十七名が直ちに採用され、來る廿八日新京發でそれぞれ任地につく事となつた、就職後の待遇も至つてよく、さきほど資源調査の警備員として派遣された者は上等兵級で百四十圓、下士級で百六十圓、大同殖產なども同程度らしく、期間は三ヶ月乃至六ヶ月位の豫定である

實業部野球 七月一日 準決勝

快晴に惠まれた實業部野球大會は二十四日の定刻午前九時名譽會長實業部大臣張燕卿代理實業部高橋總務司長より訓示を受け同氏の始球式に大會の幕は切つて落され、先づ總務司對權度局の對戰、兩軍秘術を盡くして攻め且守り觀衆をして片唾を呑ましめ遂に十一時過ぎ凱歌は權度局に上る次に農務司對中央觀象臺、工商司對鑛務司と次第に佳境に入り農務司及鑛務司に凱歌上り午後三時過ぎ觀衆熱狂の中に第一回戰の幕を閉じたスコア左の如し

權度局	對 總務司	二〇對一一
農務司	對 中央觀象臺	九對五
鑛務司	對 工商司	一五對一〇

なほ左記準優勝戰は七月一日午前九時より財政部グラウンドに於て催される筈

權度局―農務司
鑛務司―商標局

北滿重要地區 撮影のソ聯密偵 江省軍の手に逮捕さる

【チチハル國通】最近ソ聯邦に於ては頻々として滿洲國内に密偵を潜入せしめ盛に情況を調査せしめて居るのは既報の如くであるが、本日當地某機關に達した情報に依れば曩にソ聯に遁入せる匪首王德林はソ聯邦に買收されたるものゝ如く部下韓同臣をして寫眞機を携帶五月下旬私かに渡滿せしめ嫩江大嶺一帶の重要地區を撮影せる由愛琿駐屯の江省軍步兵第六團に報告があつた爲め、直ちに廬代理營長は部下を率ゐて之が嚴探中の處國家ト附近に於て該密偵を逮捕、目下嚴重取調中である

港灣視察團一行 三十名來京

日本內地港灣關係有力者を以て組織される港灣協會主催、鮮滿港灣視察團一行三十名は京圖線經由二十八日午後九時三十分來京二十九日午後九時四十五分發、ハルビンへ赴き七月二日午後三時二十五分再ひ來京、三日午前六時二十分發奉天へ向ふ豫定である

和蘭からの ラヂオ 好成績に受信

【東京國通】友交三百年のオランダからの初放送が、廿四日夜十時十三分から十六分間行はれ、これはオランダが蘭領印度向けの短波放送開始一週年記念の音樂放送を小室受信所で受信して、全國に中繼したもので、受信の成績は極めて良好であつた、十時五分國內アナウンスに次いでアムステルダムカトリック放送局からのオランダ語と英語に依るアナウンスがあり、次で王室軍樂隊により軍隊行進曲が演奏され、何れも極めて明瞭に聽取された、技術的に觀ても從來の何れの歐洲諸國からの放送よりも好成績で、オランダ斯界の面目を發揮するものであつた

哈市高岡ビル の小火

【ハルビン國通】廿三日午後十時四十分當地モストワヤ街に聳ゆる日本人所有ハルビン唯一最大の高岡ビル四階より發火し大騷ぎとなつたが、消防隊の活動に依り大事に至らず同十一時卅分鎭火した、原因は漏電で損害一千圓の見込みである

▲高橋甚吾氏(曙町一丁目二番地)次男徹さん十八日出生
▲岡春一氏(永樂町二丁目四番地ノ二)二十三日午前二時死亡
▲丸山民藏氏(東二條通り十番地)廿四日午前七時死亡

新京區公示第九號
新京日本橋通南廣場ノ交通圓滑ヲ計ル爲六月二十二日ヨリ諸車ノ左廻リヲ實施ス
昭和九年六月二十一日
南滿洲鐵道株式會社 新京地方事務所長 荒木章

忠靈塔寄附者 (四七)

新京日日新聞社扱

▼金三圓也市中無名氏▼金四十二圓十八錢國際運輸株式會社新京支店一同▼金五圓若富士號乘組井上善一 篠田喜久二▼金三十圓市內新京割烹調理師會代表松林清元▲十圓市內常盤町二ノ八松田武彦小計金九十圓十八錢 累計五千七百四十六圓三十二錢

學校だより

新京中學校

開校式

一ノ一　南方一衛

ふと目がさめた、今日は開校式だ、すばやく床を出て、天氣は、と空をながめると、鉛色の空は今にも雨が降りさうだ、悪い天氣だなと思つてゐると、まもなく吹雪となつた用意をして表に出た、雪が顔にあたる、大へん寒い、僕は體をちぢめて小さくなつて歩いた、ひよいと顔を上るともう學校だ、すばやく教室にはいりこんで見ると寒いのにもう皆來てゐる、皆の顔はうれしさうに、にこにこしてゐるなんだかうれしい、たつた一時間の時間も長く感じた

いよいよ式がはじまつた、式場にはいるとなんとなくうれしくて氣がおちつかない、君が代を歌つたがいつもよりはればれしく聞えた、外は寒いのに皆の顔は暖かさうだ、

式はづんづんとすんで來賓のお方のお話する頃から僕は大へん寒くかんじられた、式もだんだんおはつて氣がゆるんだためか、寒さはいよいよましてきてがたがたとふるへだした、止めようと思つても止まらぬ、僕はしかたがないから小さくなつてすくんでゐた

もうかうなるとさつきのうれしさはどこへやらいつてしまつて、たゞはやく式がすむのをまつばかりだ、まもなく式がすんだ「あゝ式もこれですんだか助かつた」と思つてゐると「外に出て記念寫眞をとる」といつたので外に行かなくてもその一言で一そう寒くおもつた

外に出て寫眞を寫してしまふと飛ぶやうにして學校に歸つてきた

西廣場小學校

京と杏

六ノ一　吉賀　徳郎

ほこりが舞ふ、砂が流れる、何時もはほこりだらけの新京も今日は久々の好天氣だ、青いくつきりとした自然の大天井には雲一つとしてなくまつたくの日本晴である

僕等西廣場小學校の全員はそれぞれ擔任の先生方に引率されて、午前八時校門をくぐり遠足の目的地杏花村へ向つた

新京には自動車が多いその爲にいくら快晴で風が無くともほこりが舞ひ少々位は砂もとぶその中を僕等は八島通を東南に進んで行くのである、僕は考へた、國都新京は出來るしかしそれまでに何故舊市街を整頓しない、足もとを見づに遠くを見てゐる新京が出來上るまで僕等はこのほこりくさいところに住んでゐるのか

僕は今何か頭をかすめて行つたものを見たそれは昔の長春であつた、あの頃はよかつた風は吹いてもほこりはたゝず道の眞中で遊んで居ても自動車は來なかつた、僕は考へるのであつた、「一つの美をつくるには一つの美をこわさねばならぬ」と、歩いてゐる、僕等は歩いてゐるのだ、そして杏花村は刻々と近づいて來る司法部を越すと今度は荒れた野を通る一本道を進むのであつた、そこは風が吹いてゐたしかし町の様にほこりはたゝなかつたそして北を見ればほこりと煙とにむせてゐる新京が、レールの土手を越して見え、南はやがて國都となる新京の姿がうつつてゐた

×××

杏花村は靜かだつた、自動車も馬車もこなかつた、たゞ僕等の話聲が聞えるばかりだつた、僕は靜かな所でも昔の長春を想ひ浮べてゐる

この杏花村もやがては都會の騒音となるであらうと思ふと涙がにじみ出る様な氣持になつて京と杏の字が頭の中でくるくる廻つてゐた　以上

遠足

六年三組　小池マサ子

ほこりだらけの市街を通りぬけると目の前は廣々とした野原になつた

野原の處々にうす緑の若芽が頭を出してゐる、私達はリュックサックの鈴をちやらちやらさせながら杏花村へ向つた

しばらく行くと小さな森が見え出した、「きれいねー」と私は思はず言つた、葉はいかにもみづみづしいほこり一つついてゐないやうな新緑でみきは銀色でつやつやしてゐた

遠くを見ると又森が見へた、お友達に「杏花村よ」とおしへていたゞいたのでよくよく見ると成程うす緑にまじつて白い花が見へる、一時間半程かゝつて、やつと杏花村についた、先生のお話がすんだので思ひ思ひの所へ行つてお菓子を開いた、十時に樂しいお辨當を食べた、遊ばうと思つてゐるともう集れとの事、私達はぐちをこぼしながらキャラメルをほゝばつて集つた、歸りは近道をした、野原の處々に可愛らしい紫色のすみれが見へる、私達は歩きながらそれを摘んだだんだん市街に近づいた、私は西公園の横の所で皆と別れ友達數人と家へ歸つた、今日の遠足は時間は短かかつたがとてもよい氣持だつた

蜂蜜頂子の

協和農場の概要(二)

滿洲國協和會吉林事務局經營

然れ共之が公平を缺く儘に放置せんか地主對小作人間の紛爭發生は愈々甚だしく、殊に滿洲國に於ける此の種の傳統的紛爭は民族的問題化する程の重大問題にして現下に於てさへ表面に地下に各地共通的事情に因由して訴訟し或は徒黨して抗爭し時に流血の爭をなす等、兩者の蒙る處の害毒に尠なからず、斯の如き不幸は實に名状すべからざるものあり故に本辨事處は公平なる借地料の協定並に小作紛爭を豫防せん爲左の如く水田借地料の常識的研究をなす

(一)土地の良否及穀物收穫の多少

土地良好にして穀物產出多量なれば借地料を多額に然らざれば少額とす

(二)水利の良否即ち灌漑の便宜如何

水利良好にして灌漑に便なれば借地料を多額に然らざれば少額とす

目次

一、經營の動機
二、水田開墾計畫概要
三、現況の概要
四、移住農民戸數及其の氏名　附現耕地面積　地主名
五、農耕地の位置
六、借地契約に關する事項

(三)旱災、水災の有無及程度

旱水災無ければ借地料を多額に然らざれば少額とす

(四)交通の便不便及賣買市場との遠近

交通便にして市場に接近せる個所は借地料を多額に然らざれば少額とす

(五)警備狀況即ち匪患の有無及程度

匪患無き個所は借地料を多額に然らざれば少額とす

(六)同族相互間借地料の比較即ち地主に納付する穀物の種類數量及價格の比較

若し民族的差別をなし他民族に對し意識的に過多の借地料を要求するは之れ建國精神及民族協和之精神に違背するものなれば同族間の約定借地料を比較し之を是正に努力す

(七)借地期間の長短

長期借地は借地料を比較的多額に短期なれば比較的少額とす

(八)地主が小作人に對し農作種子及農作資金を貸與するや否や

若し地主の小作人に對し農作種子及農作資金を貸與する場合借地料は比較的多額に然らざれば少額とす

今後借地料協定の場合上記諸項を標準とせば即ち公平を得べく而して小作紛爭を豫防する事を得べし

一方弊辨事處は以上の點に留意して之を實踐し民衆に模範を示すべく今般會員中の地主と折衝し水田事業を經營することゝせり

海の外から

帝政ロシア顛滅の戯曲　ニコラス二世の日記現る　悵然たる血涙の秘史

エカテリンブルグの慘劇、大帝政ロシアの覆滅、その血涙大戯曲の一幕を秘めたニコラス二世私用日記が最近發見された、次記は退位當時、一九一七年三月二日木曜日の一節である『ペトログラードの形勢は今や絶望也、ドウマの組織せる内閣も勞働者委員會と社會民主黨に敵し得ず、余の退位は必要なり、二時卅分ロシアを救ひ、戰線の軍隊の壞滅を防がんためには余のこの決心は遂行せられざる不可午前一時、豫の今日迄の身を想ひ回らせば轉悵然たるものあり、今や余の周圍は叛逆と裏切と卑劣なる徒輩のみ嗚呼』

コドモマンガ　ケンソンコゾウ

(1) ハジメノウチハ、アシニマカセテスタスタアルキマシタガ、コシニブラサゲタヒヨウロウ(オベントウ)ト、リヨウテノグローブガオモタクテタマリマセン、エイ、メンドウクサイ、トグローブチセナカニ、ヒヨウロウチマエニブラサゲテ、カケダスハズミニ、デンシンバシラニブツカツテオツトケンソン〜

(「オットケンソン」)

(2) チンジユノモリカゲニサシカヽルト、ダシヌケニアラハレタトリカタ五六ニンビダシタ「ゴヨウ、ゴヨウ」トジユツテチカマヘテトチガイ、ボクハ、ジゾウリユウケントウノガンソ、ケンノンコゾウ、ポンキチダ」トゲンコチツキダシタ。

(「ゴヨウゴヨウ」「オットケンソン」「ゴヨウダ」)

クツヅ

ラヂオ

二六日(火曜)放送プログラム

前六、〇〇ラヂオ体操(東)
同八、〇五經濟市況(東)
同一〇、三〇ニュース(東)
同一〇、四〇經濟市況(東)
同一〇、五九時報レコード(滿)
同一一、三〇ニュース(滿)
同一一、四〇ニュース經濟市況(東)
後〇、〇五經濟市況(奉天より日滿滿語)
同〇、三〇演藝レコード(滿)
同一、〇〇演藝(滿)
同二、五〇經濟市況ニュース(東)
同三、二〇ニュース(日滿兩語)
同三、三〇經濟市況(奉天より日滿兩語)
同四、三〇ニュース(滿)
同四、四〇ニュース(鮮)
同四、五〇ニュース(英)
同五、〇〇子供の時間　童話　菊地文子
自同五、三〇至同七、〇〇關西相撲協會大角力實況(奉天より中繼)
同七、〇〇謠曲(東)　小袖曾我　シテ十郎　梅若萬佐世　ツレ五郎　梅若猶義　ツレ母　梅若春雄　地　梅若萬佐世　同　梅若猶義
同七、三〇哥澤(東)　一、すきやちどみ　唄　哥澤芝小喜代　二、鶺　同　晴　三、安藝の宮島　同　哥澤芝静　三味線　哥澤芝雛
同七、四五落語(東)　正夢　桂　小南
同八、〇〇地唄(六)　雪妻獅子　三絃本手　富春よし　三絃替手　富春久和
同八、三〇時報ニュース(東)
同八、四五ニュース　氣象豫報プロ豫告
同九、〇〇演藝(滿)　天順班　翠紅
引續ニュース氣象豫報プロ豫告(滿)

日本の聖女

一三八

生田葵 作　南部龍平 畫

蹴上茶屋の闇鬪（一）

吉兵衛は節をこす塲所でなく、日光よけの手拭で頬かぶりし、風呂敷のすそを、尻からげして、紺のもゝひきに、きやはんをつけてゐた。

お定は一旦牢獄に入れられた身が非人をよそはつて脱出した身なので、此邊にそんな牢獄の役人が見廻つて來るも、逢ひにないにしても用心にしくはなしと手拭で頬被かぶりして、大津街道接待りのまづしい百姓家の女房が、用向きがあつて入京するやうな、身附けをしてゐた。

三人とも草鞋ばきであつた。

「大分おつかれになつたでせう。それにおなかもおすきになつたでせうから、此の蹴上口を越えた邊りの茶店で、ご一緒に中食を取ることにいたしませう」

吉兵衛が森村へ云つた。

「私はまだくたびれはいたさぬがお定は女の足になれない旅草鞋をはいて、さぞつらからう。ほどよいお店を發見たら、休んで食事をとらう」

森村は、お定を、いたはつてやつた。

山科の奥の寂しい隱れ家を出てまだ二里とは歩いてゐないのであるが、昨日の雨で道がぬかるみ。それに、坂道があつたりして女の足弱をつれて歩くのに、手間が隙りもう一刻半程を歩通したしたのである。

「森村様は、お達者でご座いませうに、女の私に交りましたばかりに、緩々、お歩かしまをしまして相濟まぬことゝ存じてをりまする」

お定が然う言つて森村へとわびた。

そんな話の中に蹴上口を通り過ぎて了つた。

蹴上は京の入口である。

中食を取り得られる、茶店が、のきなみに、暖簾のれんを掛げてゐた。

餘りとは目立しい人出入りのあるを避け、繁昌してない家を選んで這入つていつた。

「お出でやす、お掛けなさいませ」

入口近い所に立つてゐた女店の親爺が大聲で迎へた。

三人は表から内部へ導く通り庭を、ずつと奥へはいり込んで行つた。

さうして往來から見えない山に面する所に建つ離れ家を見付けると、そのえん臺へと腰をおろした。

直ぐ若い女中が姿を見せたので、お定が三品程の下物や、飯を添つて來るやうに注文した。

吉兵衛は笑ひを含みながら、

「森村様、昨夜お殿様とお和睦なされましたあくる日の今日、もう、かうしてお出ましになるのは餘儀ないお用向き故ではご座りませうが、お用濟み次第なる可く早くご歸宅なされますやうお願ひいたします。然うでないと花垣様がお可哀さうでご座ります」

「私も然う思つてゐる。しかし今日橋本左内殿に面談を説くのは徳川幕府の親藩の大々名越前侯を説くのも同じ事なのじや。橋本殿は越前侯の腹心の家、越前侯は橋本殿の云ふ言葉なら、大底にお取上げになると聞いてゐる」

「私は切支丹の宗門は諸人の助けになること故、生命を賭けても宗門を弘布する爲めに働かうとは存じてをりまするが、尊王とか、攘夷などと云ふことには一向不得手で解り兼ねまするが、只今日本の政治はどう云ふ風に動いてゐるのでござりましやう

×……

×……

×……